

參考資料

三浦市民生活向上会議設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、社会福祉法人三浦市社会福祉協議会（以下「本会」という。）が、住民主体の地域福祉活動を推進するために「三浦市地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）」の進捗状況の管理や地域福祉の推進を目途とした活動を実践する三浦市民生活向上会議（以下「委員会」という。）の運営について必要な事項を定める。

(事務局)

第2条 委員会の事務局は、本会に置く。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 活動計画及び地域福祉計画における成果指標の設定と活動計画の進捗状況の管理
- (2) 三浦市地域福祉計画（以下「地域福祉計画」という。）との連携・連動
- (3) 活動計画事業の審議・実践
- (4) 各部会から上程された案件の審議
- (5) その他会長が特に必要と認める事項

(委員会及び委員)

第4条 委員会委員（以下「委員」という。）は委員30名以内をもって組織する。

2. 委員は、本会会長が委嘱したものとする。
3. 委員は、次に掲げるものの中から選出する。

- | | |
|------------------|----|
| (1) 民生委員児童委員協議会 | 1人 |
| (2) 介護保険事業者 | 1人 |
| (3) ボランティア | 6人 |
| (4) 地域作業所 | 1人 |
| (5) 地域サロン | 1人 |
| (6) 当事者団体 | 3人 |
| (7) 学識経験者 | 1人 |
| (8) 子育て支援センター | 1人 |
| (9) 青少年関係団体 | 1人 |
| (10) 商工会議所・青年会議所 | 1人 |
| (11) NPO | 1人 |
| (12) 三崎警察署 | 1人 |
| (13) 神奈川県社会福祉協議会 | 1人 |

- (14) 三崎保健福祉事務所 1人
- (15) 三浦市職員 4人
- (16) 学校 1人
- (17) その他会長が特に必要と認めるもの 若干名

- 4. 委員会に委員長1名と副委員長2名を置き、委員の互選により決定する。
- 5. 委員長は、委員会の会務を統括し、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたときは、副委員長がその職務をおこなう。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

- 2. 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員報酬)

第6条 委員の報酬は、無報酬とする。

(委員会の招集)

第7条 委員会は必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。

(部会)

第8条 委員会に次に掲げる部会を置き、委員が各部会の構成員となる。

- (1) ボランティア活動推進部会
- (2) 福祉のまちづくり検討部会
- (3) 活動評価促進部会

- 2. 各部会には部会長1名と副部会長1名を置き、部会長は本委員会副委員長が兼務し、副部会長は部会員の互選により決定する。
- 3. 部会長は部会の会務を統括し、部会長に事故あるとき、または部会長が欠けたときは、副部会長がその職務をおこなう。
- 4. 部会は必要に応じて部会長が召集し、その議長となる。

(連携)

第9条 委員会は、福祉サービス向上委員会との連携を蜜にし、次の活動については協働に努めなければならない。

- (1) 資料収集、住民ニーズの把握
- (2) 各種事業に関する調査検討
- (3) 必要に応じての調査、公聴（ヒアリング）

(臨時委員)

第10条 委員会が必要に応じて委員以外のものに臨時委員として委員会に出席を求め、意見を聞くことができる。

(委 任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は委員長及び部会長が別に定める。

付 則

この要綱は平成16年11月12日から施行する。

付 則

この要綱は平成20年2月1日から施行する。

活動計画評価促進部会設置要領

(目的)

第1条 この要領は、三浦市社会福祉協議会（以下「社協」という。）が地域福祉活動計画（以下「計画」という。）を踏まえた活動促進を目途とした活動を評価する活動評価促進部会（以下「部会」という。）の運営について必要な事項を定める。

(事業)

第2条 部会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 活動計画事業に関する検討審議・実践
- (2) 活動計画事業の成果指標と進捗状況の管理
- (3) その他目的達成に必要な事項

(組織)

第3条 部会は、部会員10名以内をもって組織する。

2.部会員は、次に掲げる関係機関の者のうちから、選出する。

- | | |
|------------------------|-----|
| (1) 三浦市職員 | 1人 |
| (2) 保健福祉事務所（保健所） | 1人 |
| (3) 神奈川県社協職員 | 1人 |
| (4) 学識経験者 | 1人 |
| (5) 地域サロン | 1人 |
| (6) 福祉施設（介護保険事業者） | 1人 |
| (7) ボランティア | 1人 |
| (8) 商工会議所・青年会議所 | 1名 |
| (9) 当事者団体 | 1名 |
| (10) その他部会長が特に必要と認めるもの | 若干名 |

(任期)

第4条 部会員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

2. 部会員が欠けた場合における補欠部会員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第5条 部会長及び副部会長各1名を置き、部会長は副委員長が兼務し、副部会長は部会員の互選により定める。

2. 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
3. 副部会長は、部会長を補佐し、部会長が欠けたとき、又は事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部会は、必要に応じて部会長が招集し、その議長となる。

(意見の聴取)

第7条 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者を会議に出席させ、その説明又は意見を聞くことができる。

(委 任)

第8条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、部会長が会議に諮って定める。

(附 則)

この要領は、平成16年11月12日から施行する。

(附 則)

この要領は、平成20年2月1日から施行する。

三浦市民生活向上会議委員名簿

任期 平成20年2月から平成22年1月まで

活動評価促進部会

	氏名	所属	選出区分	備考
1	大野和男	元日本社会事業大学大学院	学識経験者	委員長・部会長
2	山下芳夫	三浦市商工会議所	商業	
3	世古久枝	スポーツクラブさざなみ	ボランティア	
4	菊池隆雄	神奈川県社会福祉協議会	県社会福祉協議会	
5	鈴木秀子	みどり会	地域サロン	副部会長
6	大黒千代	三崎保健福祉事務所	行政	20年3月まで
	海法澄子	三崎保健福祉事務所	行政	20年4月から
7	井森悟	三浦市役所(福祉)	行政	21年3月まで
	下田学	三浦市役所(福祉)	行政	21年4月から
8	岩崎諭史	うしお作業所所長	当事者団体	
9	高柳慶枝	NPO介護サービスセンター	介護保険事業者	

ボランティア活動推進部会

	氏名	所属	選出区分	
1	相澤公代	三浦市手話サークルともしび会	ボランティア	部会長
2	石崎洋美	きくな作業所(作業所「輪」連絡会)	福祉関係者	副部会長
3	竹村美枝	NPO介護サービスセンター	NPO団体	
4	佐野光夫	神奈川県青少年協会	青少年関係	
5	山田真也	三浦市教育研究所	行政(教育)	20年3月まで
6	檜垣義久	三浦市教育研究所	行政(教育)	20年4月から
7	吉田武夫	三浦市市民協働室	行政(ボランティア)	
	高丸守英	三浦市市民協働室	行政(ボランティア)	
	石川博英	三浦市市民協働室	行政(ボランティア)	
8	吉岡清隆	三浦臨海高校	学校	21年3月まで
	清野 史康	三浦臨海高校	学校	21年4月から

福祉のまちづくり部会

	氏名	所属	選出区分	
1	浅沼貴浩	三崎警察署 生活安全課	警察署	20年3月まで
	小山内 章	三崎警察署 生活安全課	警察署	21年3月まで
	荻原 太一	三崎警察署 生活安全課	警察署	21年4月から
2	工藤美保	初声保育園	子育て支援センター	
3	飯嶋和子	三浦市手をつなぐ育成会	当事者団体	
4	飯島定夫	三浦市身体障害者協会	当事者団体	部会長
5	柳田一郎	三浦市精神保健福祉連絡協議会	ボランティア	
6	蒲原武夫	ガイドヘルプの会	ボランティア	
7	伊澤純子	三浦点字サークル	ボランティア	
8	長島義久	上宮田かもめ会友愛チーム	ボランティア	
9	笹谷月慧	三浦市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員	副部会長
10	吉田哲也	三浦市危機管理課	行政	20年3月まで
	神園 隆行	三浦市危機管理課	行政	20年4月から

■第2次三浦市地域福祉活動改訂計画策定事務局

高井 千夏 鈴木 光永 稲積 洋子 山中 貴代(平成21年度～)

谷口 英介(アンケート集計)

■活動計画促進部会の開催状況

第1回	平成20年2月25日(月) 三浦市総合福祉センター	・議題：委員委嘱、実施内容の説明ほか
第2回	平成20年3月25日(火) 三浦市総合福祉センター	・議題：三浦市地域福祉活動計画の評価
第3回	平成20年4月18日(金) うしお作業所	・議題：三浦市地域福祉活動計画の評価
第4回	平成20年6月6日(金) 三浦市総合福祉センター	・議題：三浦市地域福祉活動計画の評価 ・住民参加と地域のあり方を考える
第5回	平成20年8月8日(金) 三浦市総合福祉センター	・議題：三浦市地域福祉活動計画の評価 ・地域福祉計画における市民ニーズの把握について
第6回	平成20年9月26日(金) 三浦市総合福祉センター	・議題：地域福祉活動計画策定プロジェクトによる事業計画とその評価の手法の構築について
第7回	平成20年10月24日(金) 三浦市総合福祉センター	・議題：上半期の総括 ・三浦市地域福祉活動計画の構成について
第8回	平成21年4月10日(金) 三浦市総合福祉センター	・議題：三浦市地域福祉活動計画の中間報告書(案)について
第9回	平成21年4月24日(金) 三浦市総合福祉センター	・議題：三浦市地域福祉活動計画の第2次中間報告書(案)について
第10回	平成21年5月15日(金) 三浦市総合福祉センター	・議題：三浦市地域福祉活動計画最終報告書(案)について

日の出区悉皆聞き取り調査の結果

●はじめに

住民ニーズの把握は、地域福祉活動計画を策定するにおいて、実施計画立案上の根拠ともなる重要な作業である。全市的なニーズ調査に関しては、本計画が第2次地域福祉活動計画の改定計画ということもあり割愛したが、少子・高齢化という意味合いにおいて、最も如実に本市を映す鏡として「日の出区」を選び、少子高齢化、過疎、限界集落化といった社会問題と既に対峙している住民の意識調査をおこなうこととした。

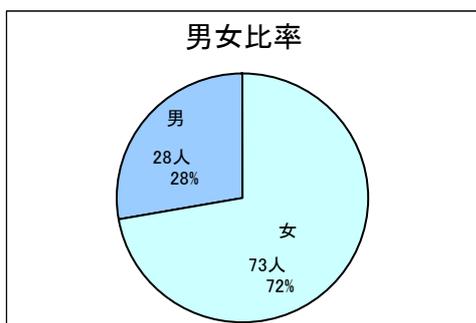
●調査の方法

本調査は、下段「調査票」に基づき、本会職員が各戸を個別に訪問し、聞き取り調査という方法でおこなわれた。なお、実調査有効対象世帯数 172 に対し、101 人より回答を得ることができた（9 人は拒否）。

※有効回答数（複数回答含む）の状況により、設問毎に回答率に差異が生じている。

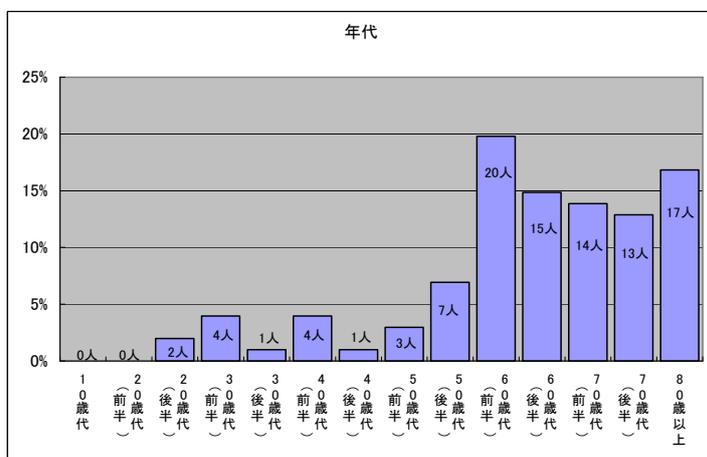
●設問別の分析

1 男女比



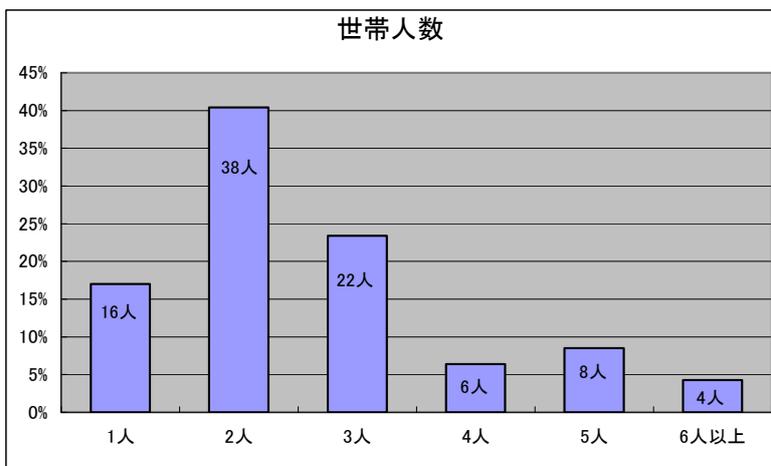
回答者 101 人中 73 人 72%が女性の回答であった。押し並べて男性は、こうした調査を面倒に思うようである。また、回答を得た一人暮らし世帯のうち約 8 割が女性であったことから、そもそも有効回答者に占める女性の割合が高いことがうかがえる。

2 年代



回答者の 65%が 60 歳以上の高齢者であった。日の出区はもはや限界集落（過疎化などで人口の 50%が 65 歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落をいう）なのである。

3 世帯人数

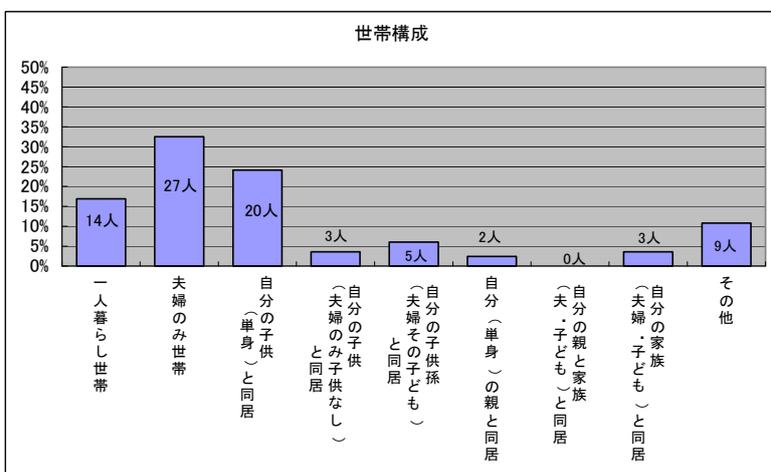


世帯数の約半数は一人暮らし、ないし2人世帯である。2人世帯の状況を世帯構成でみると、夫婦のみの世帯が70%を占めていることがわかる。

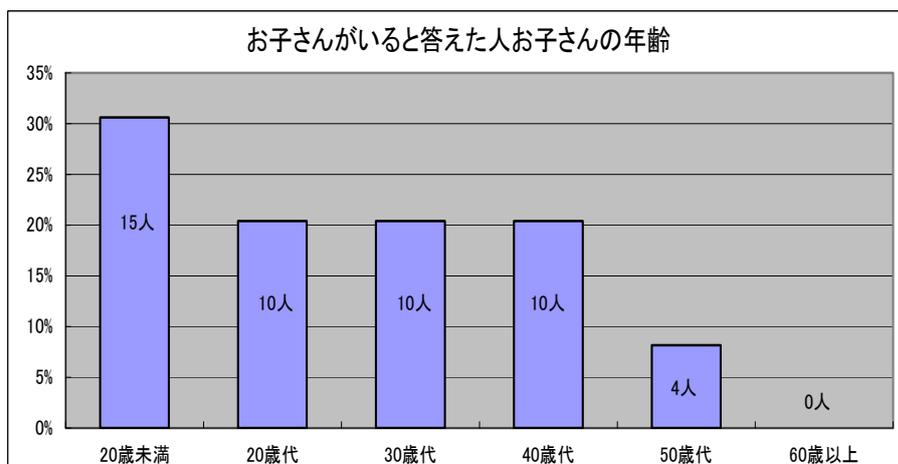
これに「配偶者を持たない子ども」との同居が続く。

いずれにしても、60歳代から70歳代の前期高齢者の夫婦世帯が多数を占め、75歳以上の後期高齢者になると女性の単身世帯の割合が高くなるということ。

核家族化傾向が実に顕著である。

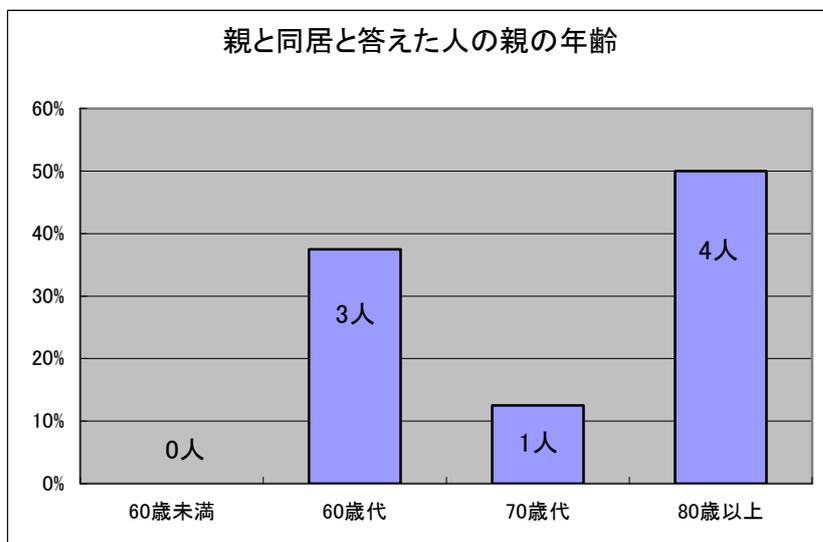


4 子供の年齢



子供がいると回答した者のその子供の年齢をみると、20歳未満が15人、31%で、7割近くが成人者であった。うち約5割が30歳以上であった。

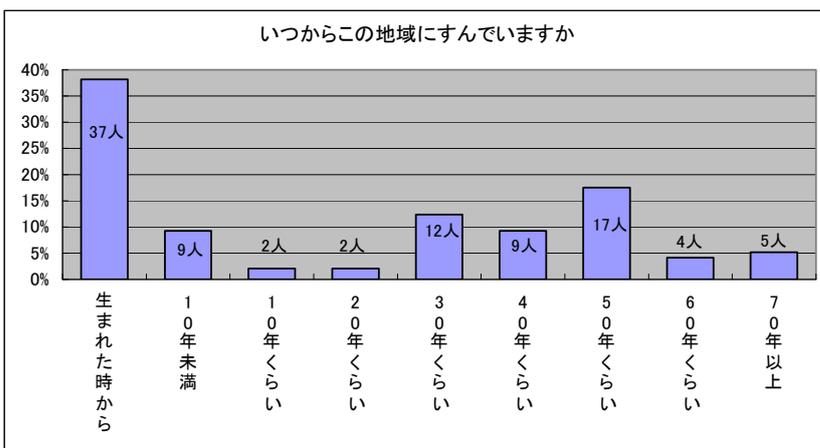
5 親の年齢



親と同居している
と回答した者の
100%が 60 歳以上で
あった。

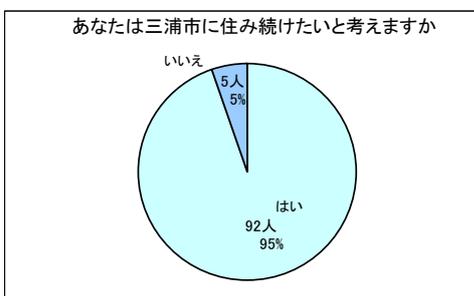
介護負担の軽減と
いう意味からも予防
活動の充実など健康
増進にかかる取組の
充実が求められる。

6 いつからこのまちに住んでいるか



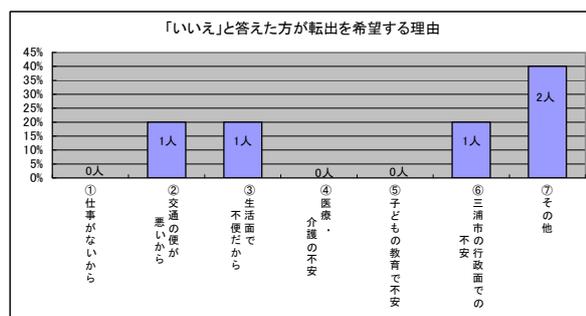
回答者の37%が「生
れた時から」と答え、
これに「30年以上」
と回答した者を加え
ると、81%という高い
数字を示した。

これになお「三浦市
に住み続けたいか」と
いう設問を用意した
ところ、95%もの回答
者が「住み続けたい」



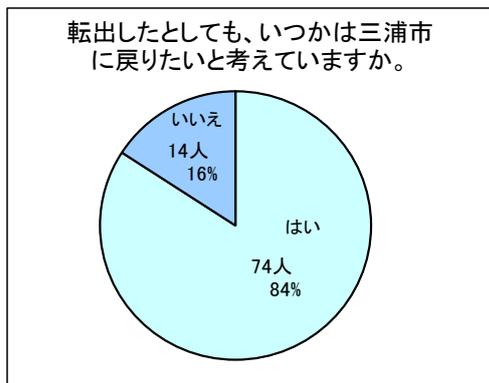
と回答。当該地域に対する愛着度がはかり知れる。

逆に「転居を希望する」理由として「交通の便
が悪い」「生活面での不自由」を掲げる者がいたこ



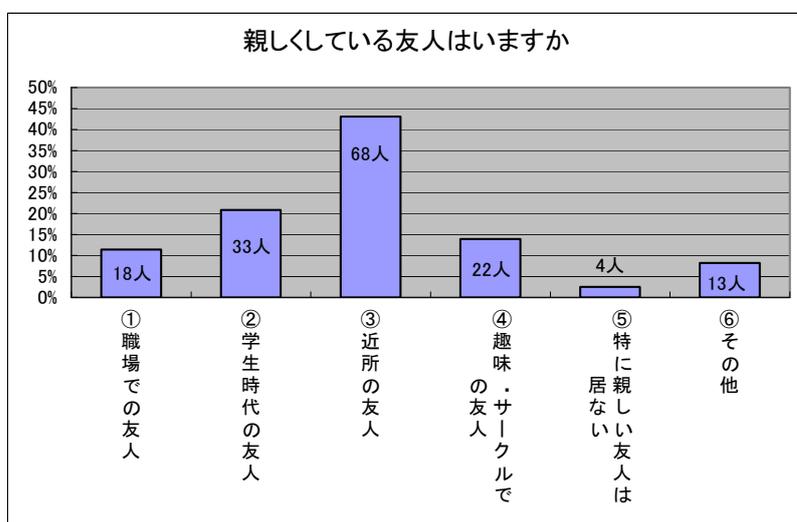
とから、インフラの整備は依然として高い
ニーズを有する行政課題だといえよう。
また、例え「転居したとしてもいずれは
三浦市に戻ってきたいと思うか」という

設問に対して 84%もの回答者が「戻りたい」と回答している。少子高齢化が進み、もはや



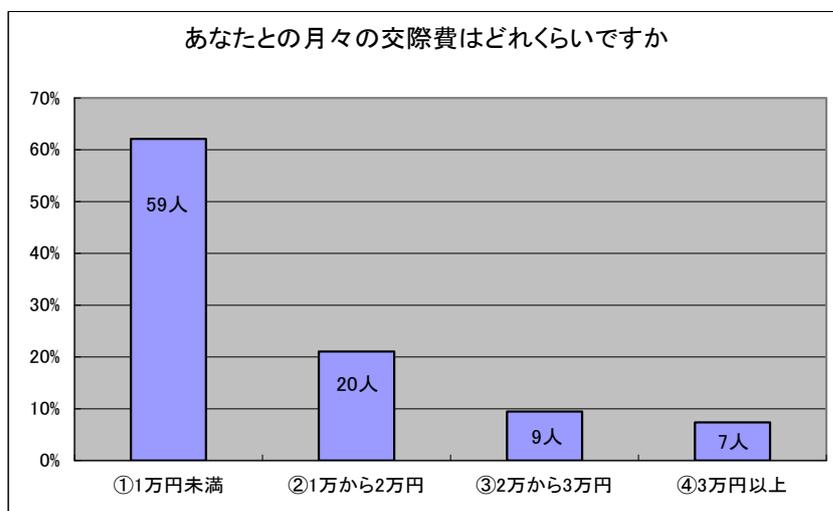
限界集落化していても、確かにそこには「相互扶助」の精神が息づき創意工夫に溢れた生活の知恵が受け継がれているに違いない。

7 親しくしている友人はいるか



「親しくしている友人はいるか」という設問に対して、68人、67%の者が「近所の人」と回答。強固な近隣との関係性をうかがわせる。

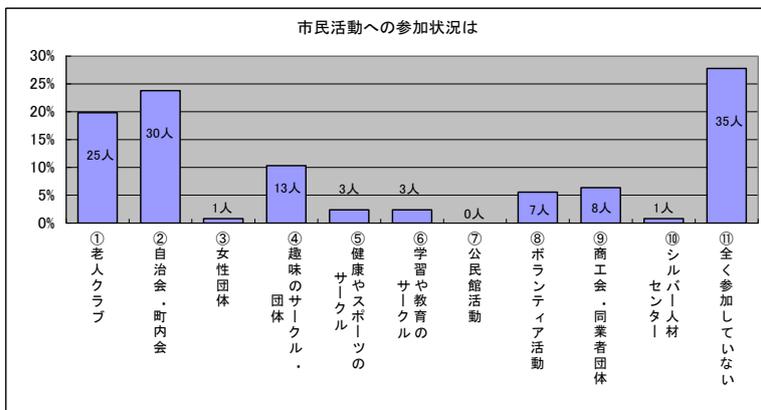
8 月々の交際費



「月々の交際費」に対する設問には、59人、58%の者が「1万円未満」と回答。

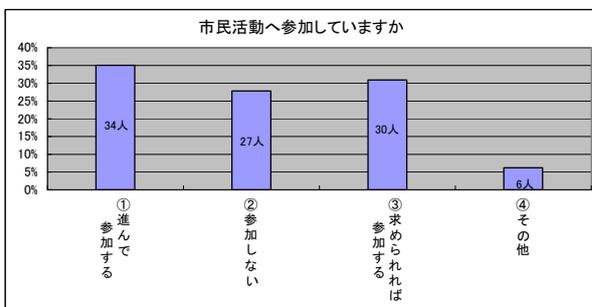
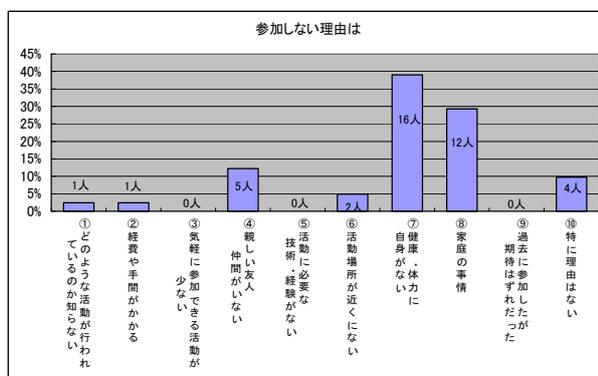
「近所の友人」との付き合いが交際相手の筆頭だったこともあり、いくらか抑えた支出に留まっている。

9 市民活動への参加状況



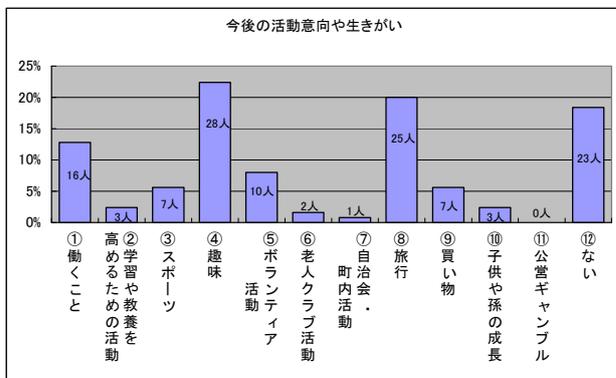
「市民活動への参加状況」に関する設問に対し、66人、65%の者が何らかの活動に携わっていることがわかった。最も多かったのが「自治会活動」で30人、45%。次いで、高い高齢化率を反映してか「老人クラブ」が25人、38%であった。

他方、これに「参加していない」理由を問うと16人、24%の者が「健康上の理由」を掲げた。ここでも、高齢化の波が暗い影を落とす。当該者の引きこもり状況を助長させないためにも、また、介護予防という観点からも「地域サロン」のように、気軽に誰もが参加できる場所が身近なところに必要なのかもしれない。



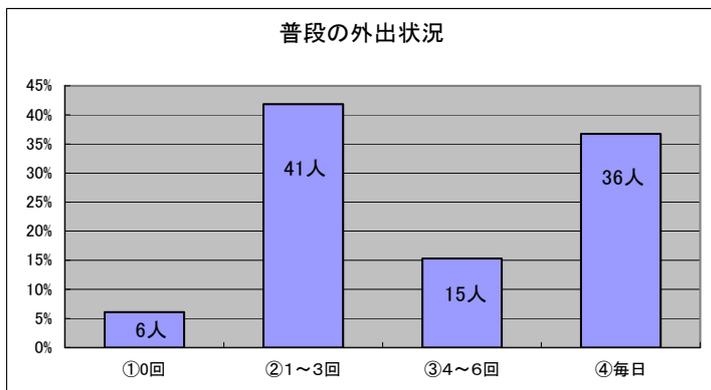
とはいえ、市民活動ないし、地域活動への参加の意向を質すと64人、66%の者が「参加する」と回答したことも見逃せない。

10 今後の活動意向や生きがい



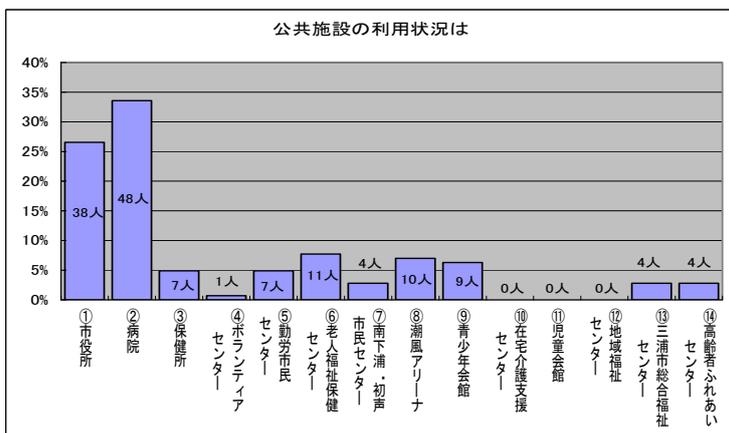
今後の活動意向や生きがいに関する設問には「趣味 (28人、22%)」や「旅行 (25人、20%)」といった具合に、ゆとりある生活志向を想起せる回答が目立った。

11 普段の外出状況



いささか意外ではあるが、有効回答者数98人中、92人、94%の者が週に数回外出していることがわかった。

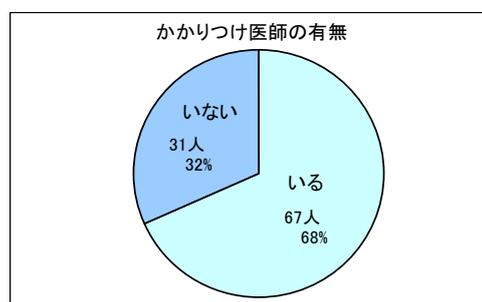
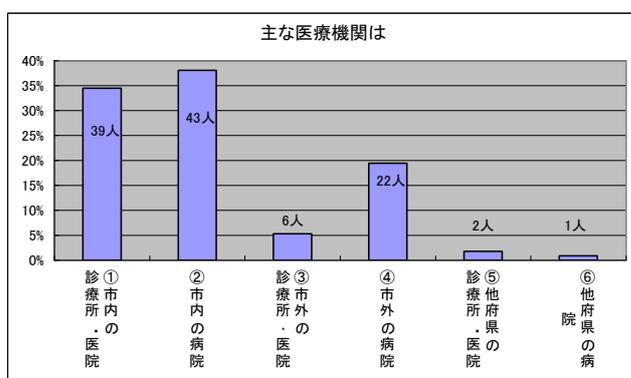
12 公共施設の利用状況



公共施設の利用状況では 48人、34%の者が「市立病院」と回答。次いで、38人、27%の者が「市役所」と回答している。

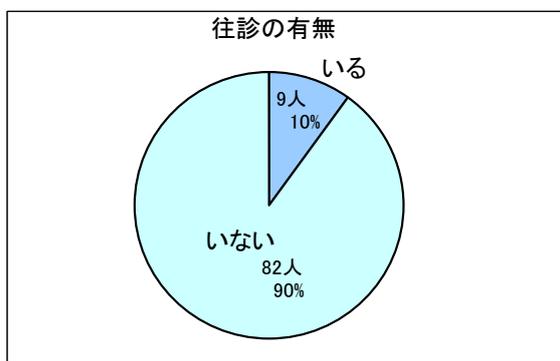
市立病院には、地域の中核的医療機関としての一層の充実が期待される。

13 主な医療機関



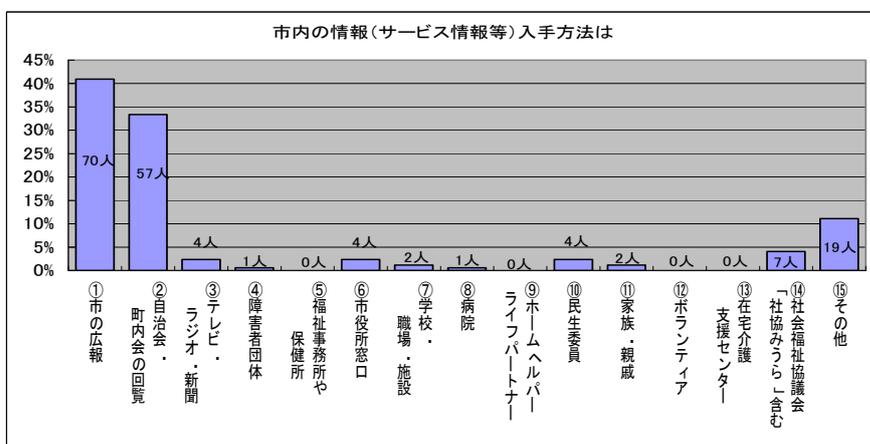
「主に利用する医療機関」では、「市内の医療機関」との回答が多数を占めたが、一方で、市外の医療機関に依存する傾向も目立ち、必ずしも、身近な地域において医療サービスが充足されているとはいえないようである。三浦市立病院を有する立地を考えると、30%の者が市外の医療機関を受診している現状は見逃せない。本市の高齢化率を

鑑みても、生活習慣病に関する診療科目の充実は不可欠であるといつて差し支えないだろ



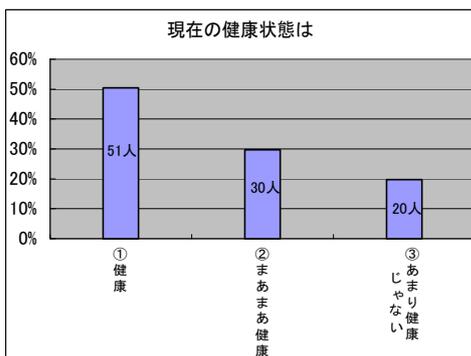
う。なお、地域の診療所や個人病院の利用率も高い数字を示しているが、これは地域密着型の医療機関が当該者の「気軽に相談できる主治医」となっていることを示唆するものである。

14 情報の入手経路



情報の入手経路では、「市の広報」「回覧」が圧倒的多数を占め、紙媒体による情報が今もって有効であることをうかがわせる。

15 健康状態

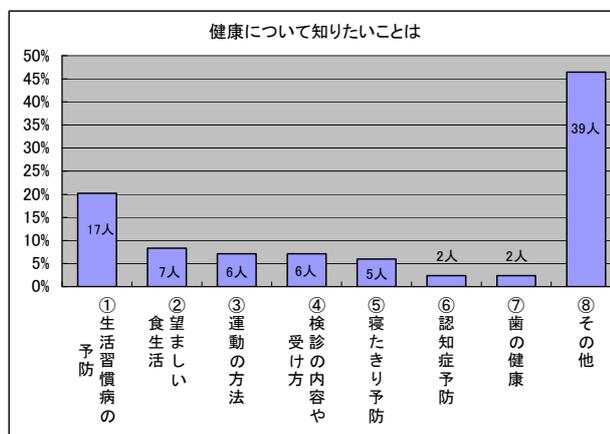


「健康状態」では、約 80%の回答者が「健康である」と回答している。

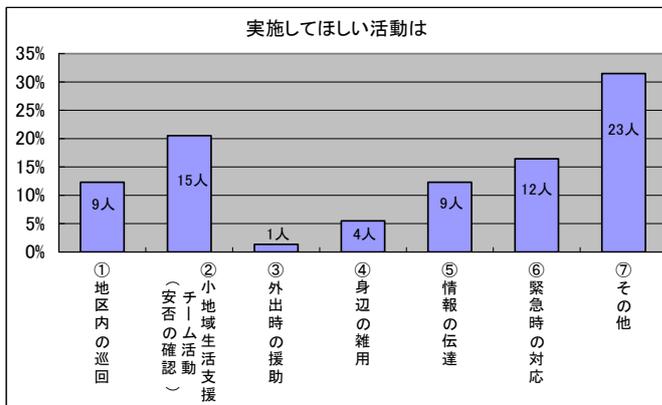
また、「健康増進において知りたい知識は」という設問に対して、17人、17%の者が「生活習慣病

の予防」、7人、7%の者が「望ましい食生活」と回答しており、健康維持について強い関心があることをうかがわせる。

健康づくりに関する一連の情報が、当該市民に生き届くようにすることも重要な施策となることだろう。



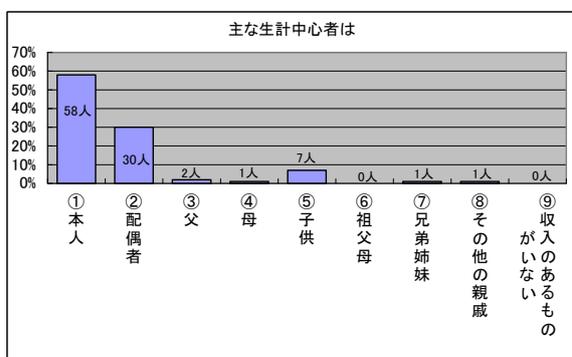
16 実施してほしい活動



当該区民が求める「活動」では「小地域生活支援チーム活動」が最も多く、次いで「緊急時の対応」、「地区内の巡回」が続く。

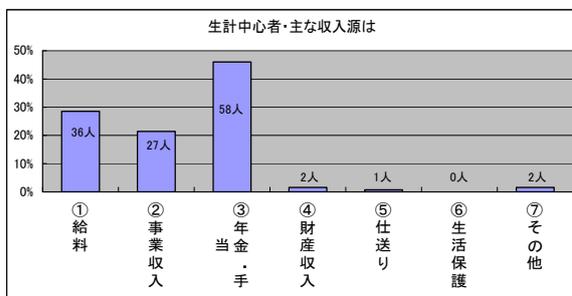
一人暮らし世帯や夫婦のみ世帯が多い表れかも知れない。

17 主な生計中心者

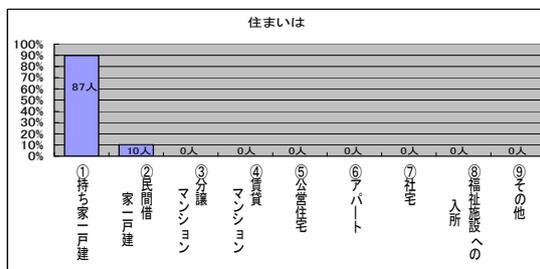


世帯の「生計中心者」に関する設問では、「本人」「配偶者」併せて 88 人、87%に及んだ。

また「生計中心者の主な収入源」では、58 人、57%の者が「年金・手当」と回答。就業者 36 人、36%を大きく上回る結果となった。

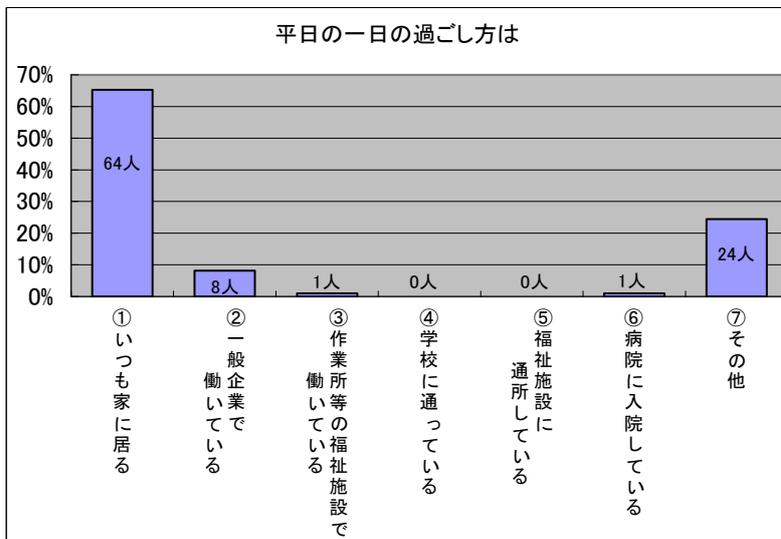


18 住まい



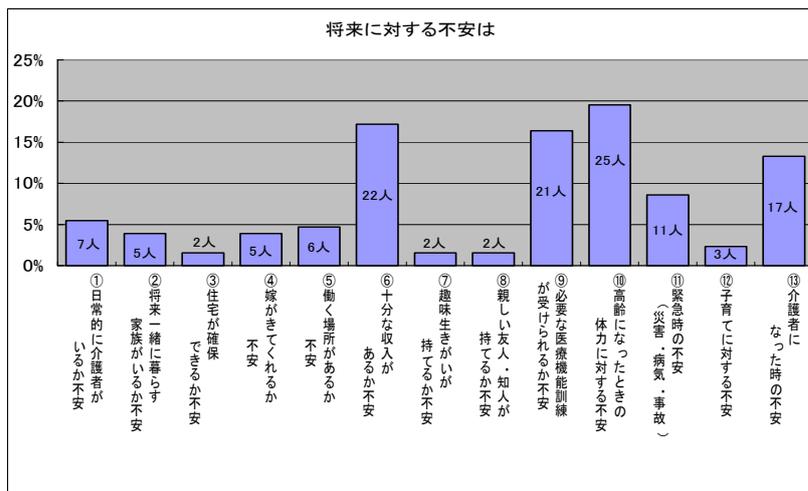
「住まい」では、圧倒的に「持家一戸建て」が多く、90%を占めた。

19 平日の一日の過ごし方



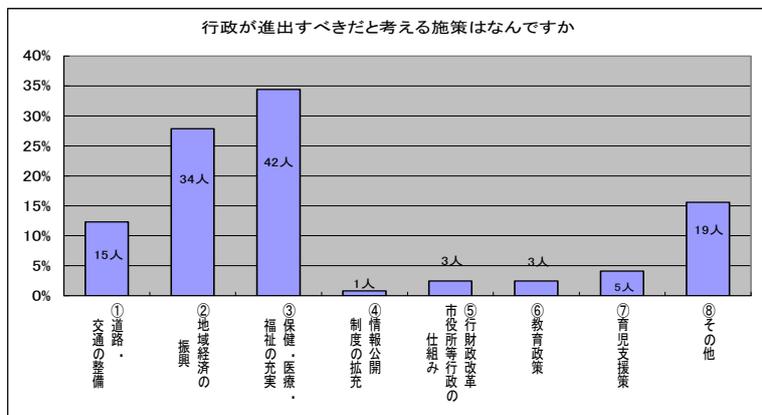
「平日の過ごし方」では、64人、63%の者が「いつも家に居る」と回答。前述のとおり、身近な地域で誰もが気軽に参加できる場所として「地域サロン」が求められることは言うに及ばず、場合によっては、外出支援などのサービスの充実も重要な支援策となってくる。

20 将来に対する不安



「将来に対する不安」では、25人、25%の者が「高齢になったときの体力に対する不安」、22人、22%の者が「収入に対する不安」、21人、21%の者が「必要な医療・機能訓練が受けられるか不安」と回答。高齢化率が高いという地域性を如実に示した。

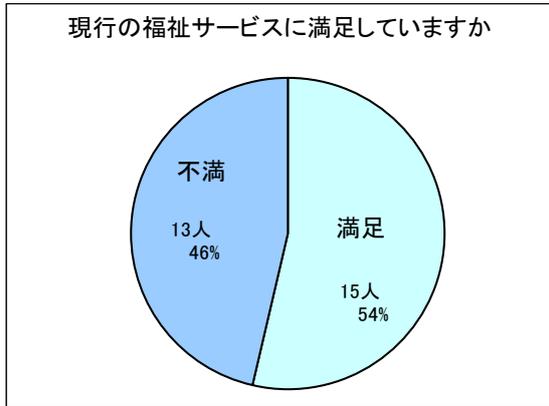
21 行政が特に取り組むべき施策



「行政が特に推進すべき施策」では、「保健・医療・福祉の充実」が最も多く42人、42%。次いで「地域経済の振興」が34人、34%。これに「交通インフラの整備」が15人、15%と続く。

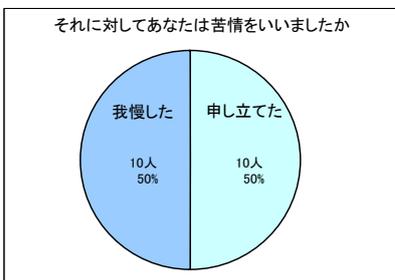
保健医療福祉に関する区民の強い関心がうかがえる。

22 現行福祉サービスの満足度



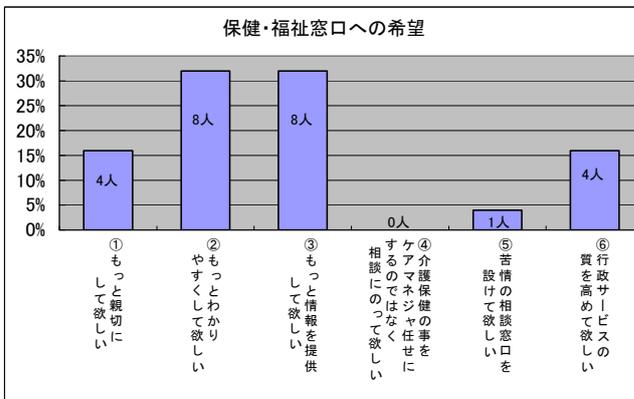
「福祉サービスの満足度」では、過半数が「満足である」と回答。比して約同数が「不満である」と回答している。

また、「不満である」と回答した当該者に、かかる「不満」について「苦情を申し述べたか」という設問に対して、有効回答者の半数が「申し立てた」と回答している。前回のアンケート調査に比べ、福祉サービス利用者の権利意識は向上したと言えなくもないが、



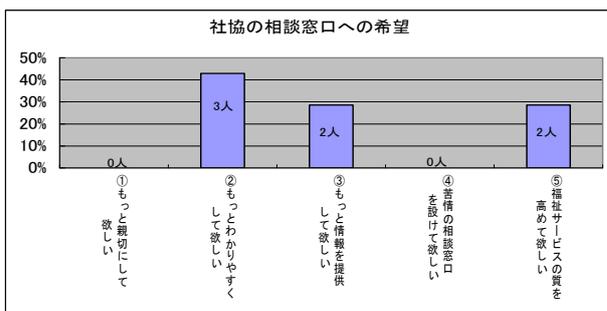
それでもなお、不満に対し苦情を言いきれない現状があることを重く受け止めなければならない。アドボカシー制度の充実はもとより、当該者のセルフ・プロテクト機能の強化を目途とした取り組みが求められる。

23 保健・福祉窓口への希望



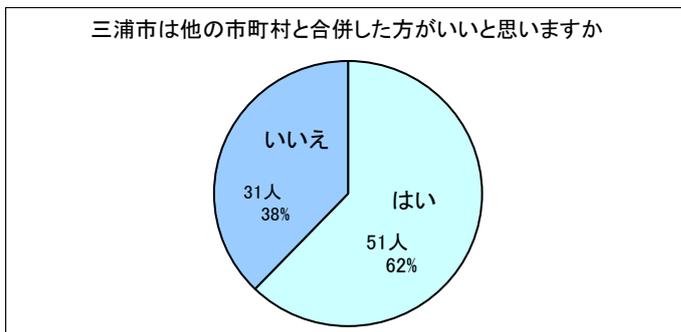
「保健・福祉窓口に対する希望」では「情報の提供」「わかりやすく」といった回答が多数を占めた。目まぐるしく変わる制度の変化に対応しきれない—といったところか。適正なる保健福祉情報の供給システムが求められる。

24 社協の相談窓口への希望



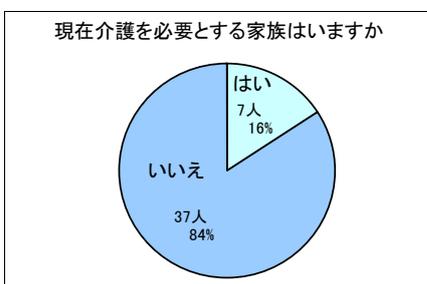
前項 24 とほぼ同傾向の回答であった。情報の提供に関しては、平成 21 年度予算においてホームページを開設する予定であるが、当該区では、依然として「紙媒体」による情報提供が有効であることから、これらのさらなる充実が求められる。

25 市町村合併

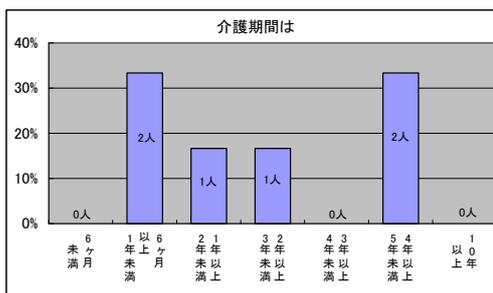
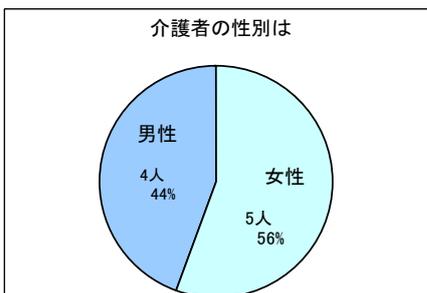


「市町村合併」については、51人、62%の者が「賛成」として回答している。平成の大合併以降も、依然として「市町村合併」に関する関心が高いことがわかった。

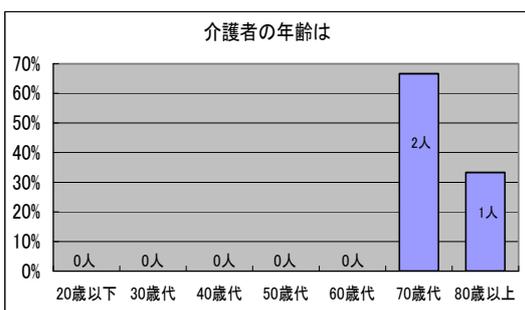
26 介護状況



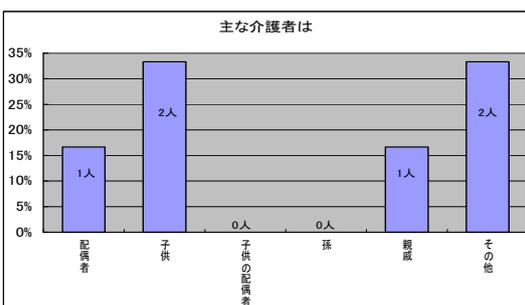
「現在介護を必要とする家族はいるか」という設問に対して、84%の有効回答者が「いいえ」と回答。その分、介護に対する将来的不安が大きいのかも知れない。いずれにしても、要介護者を増やさないための当該者自身の努力や介護予防に関する取り組みが求められる。また、主な介護者であるが、約半数が「家族以外」からの支援を受けており、当該区の社会連帯の強さをうかがわせる。



さらに介護者の状況を見てみると、やはり女性の割合が高く 56%を占めた。なお、介護者の年齢では70歳以上が約半数と高い割合を示した。いわゆる「老老介護」である。

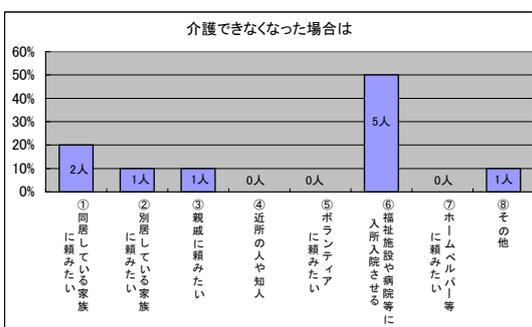
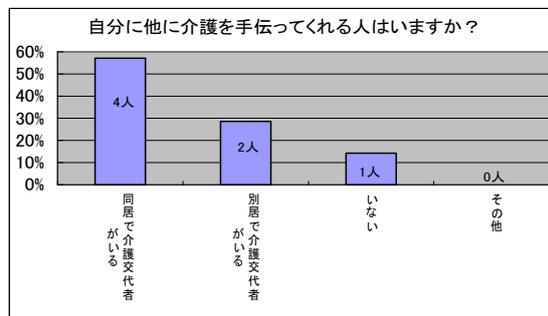
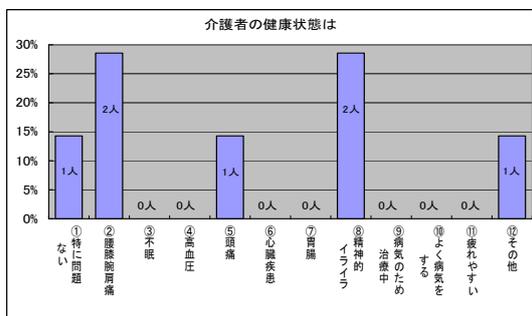


介護の期間は、比較的短いようだが、それでも、介護者の健康状態をみてみると何らかの問題を抱えていることがわかる。「腰痛」等の介護者特有の症状に加え「イライラ感」といった精神症状を自覚する者もいる。

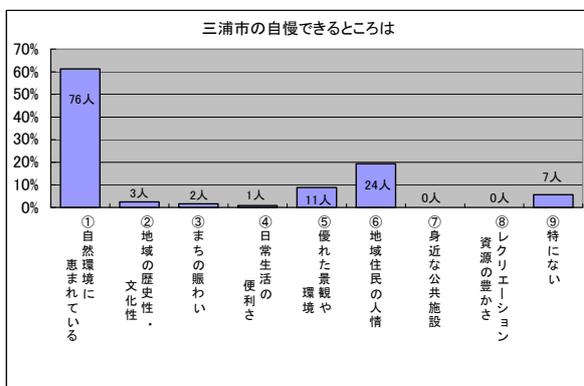


また、地域の互助関係や福祉的スティグマが強い分、家庭介護力によって「介護問題」を完結させようとする傾向が強く、介護者自身に介護能力がなくなった場合も、自分以外の家族に

頼るか、福祉施設・病院などへの入所を選択する傾向があるようだ。ともあれ、福祉サービスの周知と利用支援を促進し、在宅重視の介護環境を構築する必要があるだろう。



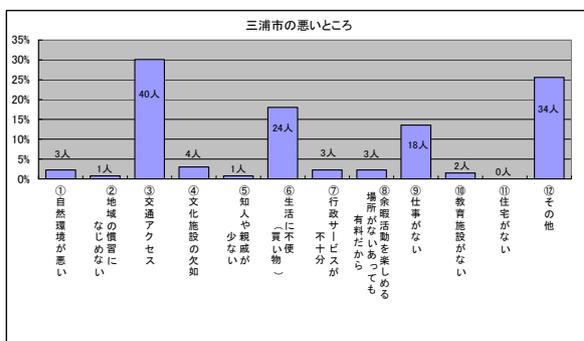
27 三浦市について



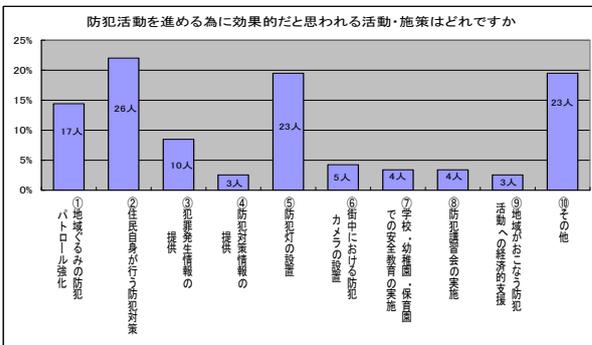
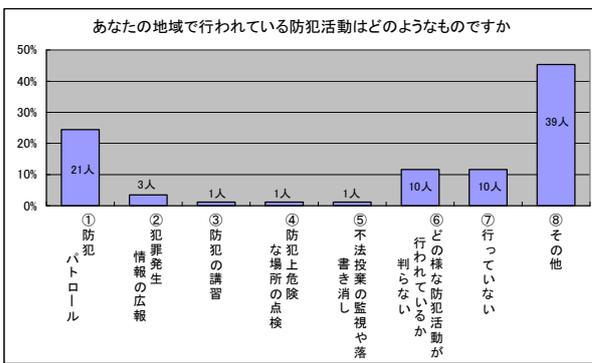
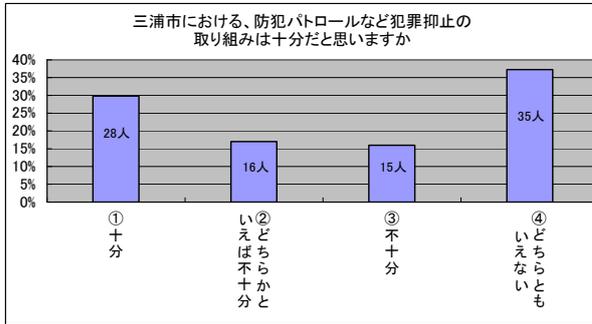
「三浦市の自慢は」という設問に対して76人、76%の回答者が「豊かな自然に恵まれている」と回答。これに「地域住民の人情」が24人、24%で続く。

やはり、この豊かな自然は将来に亘って守り抜かねばならないだろう。

一方で「悪いところ」という回答で目立ったのは「交通アクセス」であった。先にも述べたが、交通インフラの整備は急務の課題であるといって差し支えないだろう。引橋交差点の慢性的な交通渋滞や三浦縦貫道の整備は、市民の悲願でもある。



28 三浦市における防犯活動

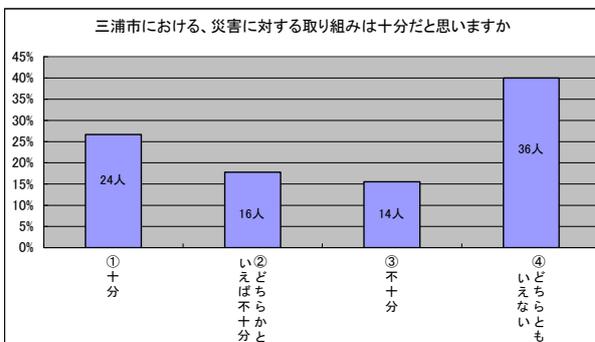


「地域活動としておこなわれている防犯パトロールなど犯罪抑止の取り組みは」という設問に対して、「十分」とする回答を「不十分」とする回答がやや上回った。

一方「あなたの地域でおこなわれている防犯活動は」という設問では「防犯パトロール」が圧倒的多数を占めた半面「どのような活動がおこなわれているかわからない」という回答や「おこなっていない」という回答も少なからずあり、市民活動の実態を周知する仕組みや活動への参加を促進する取り組みが強く求められる。

また「防犯活動を進める上で効果的だと思われる施策・活動」に関する設問では「住民自身がおこなう防犯対策」を掲げる者が最も多く、これに「防犯灯の設置」が続くなど「犯罪を発生させない環境づくり」を重視する姿勢がうかがわれる。

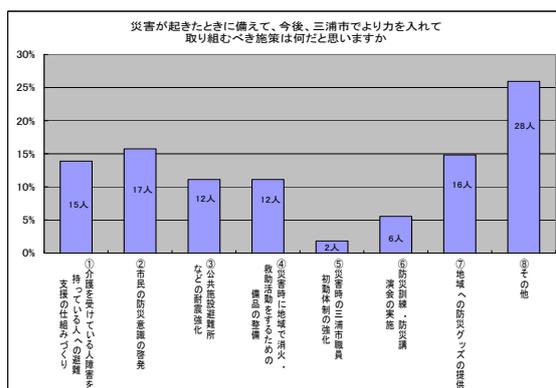
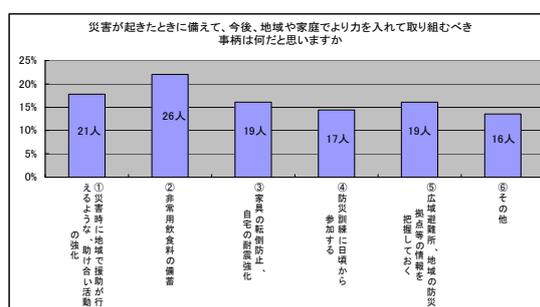
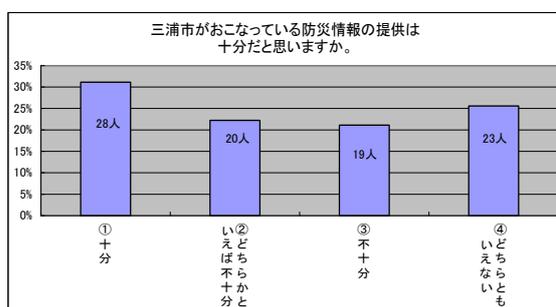
29 三浦市における防災活動



「三浦市における災害対策は十分か」という設問に対して、「十分」とする回答を「不十分」とする回答がやや上回った。また「三浦市がおこなっている防災情報の提供は十分か」という設問でも「不十分である」という回答が「十分である」という回答を大きく上回っている。

また「災害が起きた時に備えて住民は何をすべきか」という設問に対し「非常用飲食料の備蓄」を掲げる者が最も多く、これに

「地域での助け合い活動」「家具の転倒防止・耐震補強」「避難所等の把握」が続く結果と



なった。

防災に関連する最後の設問「災害時に備え三浦市が優先すべき施策は」には「防災に関する意識啓発」と回答した者が最も多く、これに次いで「要介護者・障害者を支援する仕組みづくり」と回答した者が多かった。

やはりそこには「相互扶助」の精神が脈々と息づいている。

自由口述分

他家族世帯 ・その他

- ・自分と弟
- ・親戚女二人
- ・姉弟二人
- ・子供、自分、夫婦
- ・自分と弟夫婦
- ・自分の親
- ・自分と母親

あなたは三浦市に住み続けたいと考えますか

- ・体の調子が良い限り住み続けたい
- ・わからない：3人

いいえと答えた方が転出を希望する理由

- ・市外に墓があるから

いいえと答えた方が転出を希望する理由 ・その他

- ・子供の世帯にいくかも
- ・その時になってみないとわからない

転出したとしても、いつかは三浦市に戻りたいと考えていますか ・はい

- ・考えたことがない
- ・このままのほうが良い
- ・親族墓参
- ・わからない：2人

親しくしている友人はいますか

- ・子供の学校の時の友人の親
- ・二年おきにクラス会
- ・聖書仲間
- ・店に来たお客さんと話す
- ・美山ホーム
- ・お客さん
- ・区長
- ・地域の色々な人
- ・宗教
- ・下町の方
- ・前に住んでいた所の近所の友人
- ・なし
- ・子供の親同士の付き合い
- ・子供の学校の親
- ・町内会
- ・友達はだんだんいなくなる
- ・親類
- ・お祭り仲間
- ・仕事関係の人
- ・老人会：2人
- ・婦人会：2人

市民活動への参加状況は

- ・以前は母親クラブがあったが、解散してしまった
- ・時間のある時にサークル等に顔出す
- ・うしお作業所の、手伝いをする
- ・理髪店
- ・名前はあがるが、ほとんど行ってない
- ・祭りの着付けサークルに参加
- ・聖書勉強
- ・歩くのにふらつくので参加していない
- ・会計
- ・氏子
- ・幽霊会員
- ・お店のため、参加できない
- ・PTA会
- ・積極的に参加している
- ・婦人会：2人
- ・カラオケ
- ・祭りの会：2人
- ・見守り隊：2人
- ・子ども会
- ・子供会：2人

全く参加していない・理由

- ・横須賀で勤務、退職後は10年以上、父親の介護をしていたから
- ・仕事をしているので、町内の活動はしていない
- ・全て参加していたが、膝が悪いので引退した
- ・別の町内から引っ越して来たので、古い友人がいない
- ・歳だから、みなさんにお世話になるほう
- ・家業があるので、出来ない
- ・一通り以前にやっていたので
- ・もう歳だから：2人
- ・仕事の為、足の調子が悪い
- ・仕事をしていた：2人
- ・若い人に任せたほうが良い
- ・自営のため：6人
- ・足が痛い
- ・昔は参加していた

市民活動へ参加していますか・進んで参加する

- ・避難誘導員に区から指定されている
- ・仕事の都合があれば

市民活動へ参加していますか・参加しない

- ・体力的に難しい

市民活動へ参加していますか・求められれば参加する

- ・自宅で仕事をしているので、都合が合わない
- ・余裕が無い
- ・情報が入ってこない
- ・出来る範囲で
- ・行事活動によりけり
- ・暇がない

市民活動へ参加していますか ・その他

- ・自営のため参加できない
- ・仕事でいけない、店番がある

参加しない理由は

- ・活動に参加するのが好きではない
- ・情報が入ってこないが、区のためにやりたい
- ・昔は参加していた
- ・首の手術後、からだが動かさない
- ・一通り全部やっていたので
- ・仕事があるから：7人
- ・自営だから：6人
- ・おっくう
- ・若い人がやればいい
- ・歩くことが大変
- ・子供が小さいから
- ・仕事、店番がある
- ・足の調子が悪い
- ・歳だから：3人
- ・忙しいため
- ・仕事と介護

今後の活動意向や生きがい

- ・語学、宗教音楽、古典文学等、自己研鑽
- ・マグロを使った新たなブランド作り
- ・三味線を30年やっていた
- ・針仕事、パッチワークをやっていたので
- ・水泳書道を以前やっていた
- ・趣味→希望、週に1～2回の近所に買い物
- ・横須賀で買い物
- ・今年は難しい
- ・ウォーキング
- ・作り物がしたい
- ・パソコン
- ・動物とのふれあい
- ・この歳だから
- ・カラオケ
- ・性転換
- ・働く事
- ・朝市
- ・絵
- ・園芸、お茶
- ・テレビ
- ・無い：3人

今後の活動意向や生きがい ・旅行

- ・日帰り旅行に家族以外のメンバーで
- ・行きたいけれど、お金がない
- ・年3回くらい、東南アジアに行きたい

普段の外出状況

- ・自転車にて
- ・ちょっと外に出る程度
- ・買い物等
- ・銀行の精算等、業務
- ・散歩
- ・仕事：5人
- ・月2回程度：2人
- ・病院
- ・孫の子守
- ・徒歩：2人

公共施設の利用状況は

- ・ボランティアセンターへ数年前に行った
- ・潮風アリーナへ子育てサークルで
- ・歯医者等
- ・用があれば
- ・皆無、不必要
- ・図書館：3人
- ・うらり：3人
- ・利用なし

主な医療機関は

- ・他県の先生に往診ついでに、地域の人々の検診もしてもらう
- ・先生がいない、科がない、揃っていない
- ・市内の病院は考え中
- ・行かない
- ・久里浜の病院
- ・何年も行ってない
- ・市外、市内の診療所、医院
- ・歯科
- ・整形外科
- ・飯島医院
- ・内科：2人
- ・市民病院

かかりつけ医師の有無

- ・昔はあった
- ・飯島医院
- ・川崎市の病院

往診の有無

- ・親を介護していた時に三浦診療所を利用していた
- ・父は三浦診療所を利用していた
- ・あるけどまだ受けていない
- ・今はない

市内の情報(サービス情報等)入手方法は

- ・観光ボランティアを主人がしているので、主人から情報を得る
- ・近所の人から聞く
- ・公報を読まないで、わからない
- ・商店街のポスター
- ・町内会からと、業者の会合より
- ・商店会の回覧
- ・必要なし：3人
- ・友人
- ・ロコミ：5人
- ・通知文、はがき
- ・元市職員から
- ・神奈川新聞
- ・あまり読まない
- ・県のたより
- ・商工会議所
- ・PC等
- ・直接職員が来る
- ・回覧板が多い
- ・防災みうら：3人

市内の情報(サービス情報等)入手方法は ・自治会 町内会の回覧

- ・もうあまり見ない

市内の情報(サービス情報等)入手方法は ・テレビ・ラジオ・新聞

- ・三崎の情報の時に見る

現在の健康状態は

- ・介護保険外と自分は思うが、他人から見ると介護保険に見えてしまう
- ・あちこち痛い

健康について知りたいことは

- ・子供の成人病予防など(子供が太りすぎているので)
- ・一人暮らしの方は、老人になると、どのような生活になっていくのか知りたい
- ・足の調子が良くなる事が知りたい
- ・介護について、どこに相談しに行ったら良いか判らない

- ・タバコが本当に害なのか
- ・病院の情報
- ・わからない
- ・ふれあいセンターでの講習会や健康についての講演に参加している
- ・通院先で医者に聞く：5人
- ・新聞テレビ等で情報を得ている：5人
- ・自営のため、昼間の講座にはいけない
- ・職場での検診に参加している（美容組合）
- ・保険衛生員
- ・全般にわたって広報に載せて欲しい
- ・近所付き合いを強化
- ・自己管理している
- ・食事について
- ・心臓病関係
- ・特になし：29人
- ・自己管理について
- ・脳梗塞予防等

実施してほしい活動は

- ・下校時の子供の見守り
- ・室内の遊ぶ場所
- ・ライフパートナー、新聞受けの確認等
- ・警察官の巡回
- ・安否の確認：3人
- ・子供の安全を守るために
- ・町内会会館を利用した、老人を対象とした健康教室、近いので行きやすい
- ・近所の助け合い：2人
- ・情報をもっとほしい
- ・区の会館をサロンとして活用して欲しい
- ・なし、今は必要を感じない
- ・なし、近所の連携がある
- ・満足している：2人
- ・シルバーセンターの人に様子見や安否確認をしてもらっている
- ・近所のチームワークがあり、セキュリティがしっかりしている
- ・訪問カットをしてあげたいが、情報がない
- ・市に登録している
- ・地域で安否確認など、充分に取り組んでいる：5人
- ・地域の繋がりがあから大丈夫：2名
- ・下町に人口がない、スーパーがない
- ・お店の留守番をしてくれる人が欲しい
- ・週2回、ヘルパーさんが買い物をしてくれる
- ・町内会からの情報で活動している
- ・福祉も当てにしていない
- ・出不精だから
- ・無駄に色々なことをしている
- ・思わない



- ・市役所が近いから、何とかなる
- ・何やっても変わらない
- ・もう区のレベルではない国の問題
- ・実感がない

実施してほしい活動は ・小地域生活支援チーム活動(安否の確認)

- ・一人暮らしだけでなく、区全体で
- ・もうしていると思う
- ・町内でやっている：2人

実施してほしい活動は ・身の雑用

- ・息子の外出時、一人になってしまうため

実施してほしい活動は ・緊急時の対応

- ・津久井に嫁さんがいる
- ・特にない：2人
- ・若い人がいない、運転できる人もいない、どうしたら良いか
- ・ご近所同士仲が良いので、いざという時は大丈夫

主な生計中心者は

- | | | |
|-----------|--------|---------|
| ・自分の年金が少し | ・駐車場収入 | ・不動産収入 |
| ・お店事業収入 | ・家族で経営 | ・夫婦で自営 |
| ・夫婦：3人 | ・娘（夫婦） | ・近所のパート |
| ・子供からの仕送り | ・本人 | |
| ・家族全員 | | |

住まいは ・持ち家一戸建

- ・息子名義で
- ・店舗兼用：5人

平日の一日の過ごし方は

- | | | |
|-------------------------|--------------|-----------|
| ・仕事、ボランティア、買い物に出かける | | |
| ・趣味のサークルや買い物に出かける、自分の趣味 | | |
| ・家事、読書等 | ・母親の用事 | |
| ・仕事、サークル等に出かける | ・自営業：8人 | ・散歩：3人 |
| ・日中は何もしていない | ・少し外に出る程度 | ・地域の仕事、雑用 |
| ・講習会等に出かける | ・ボランティアサークル等 | ・行ったり来たり |
| ・休日は趣味で畑をしている | ・会社経営、業務 | ・サークル：2人 |
| ・カフェ | ・買い物 | |

平日の一日の過ごし方は・いつも家に居る

- ・パッチワークサークルと太極拳
- ・自営なので仕事、年中無休
- ・病院に行く以外は家にいる

- ・見守り隊、出られる時だけ
- ・娘の送り迎えがあるため
- ・お店をやっている：4人
- ・自営だから：5人
- ・家事をして過ごす
- ・お店へ
- ・買い物：2人
- ・仕事のない日
- ・仕事のため
- ・園芸等、趣味

将来に対する不安は

- ・自分がいなくなった後の息子の将来
- ・自分が働けなくなったらどうしよう（自営）
- ・自分が引退した後への不安、若者が育っていくか
- ・様々な物が無くなって行く不安
- ・5年間何もなかったが、医療の点で不安
- ・不景気なので、景気がよくなってほしい
- ・寝たきりになった時、年金では入所できない
- ・介護保険サービスがすぐ利用できるかどうか
- ・収入の面、アルバイト続くか
- ・市立病院が不安
- ・介護の不安、在宅で亡くなりた
- ・寝たまりになったらどうしよう
- ・利用できる福祉施設があるか不安
- ・いまさら心配しても、自分じゃどうにもならない
- ・皆無、不安無 現在、老々介護中なので
- ・利用できる福祉施設があるか不安
- ・なるべく考えないようにしている
- ・今は特にな、近所がよくしてくれるから
- ・ヘルパーさんが週2回、子供も来てくれるので、今の所心配なし
- ・娘が近くにいるから、どこでも連れて行ってくれるので安心
- ・寝たきりになった時不安
- ・何も出来なくなったら困る
- ・年金で入れる施設があるかどうか
- ・一人になった時の不安：2人
- ・買い物、料理、一人暮らしなので
- ・病院をもっと、充実して欲しい
- ・学校のこと
- ・主人が狭心症
- ・病気等：2人
- ・年金問題、お金の問題
- ・福祉のこと
- ・年金が少ない生活不安
- ・健康状態
- ・あまり考えないようにしている
- ・なるようにしかならないという考え

将来に対する不安は ・十分な収入があるか不安

- ・60歳から65歳の仕事がない
- ・年金がもらえるか心配
- ・自営だから
- ・年金のみで生活していけるのか
- ・年金が少ない

行政が進出すべきだと考える施策はなんですか

- ・3年前おじいさんが他界しているが、もう少しサービスを利用したかった
- ・使用料が高い、入浴施設、プールが近くにほしい
- ・男性の働き場※女性の三浦（下町）での働き場はまだある方なので
- ・人件費の削除、人件費のかからないところで、もう少し市政を見直して欲しい
- ・科によって先生が一人なので待ち時間が2時間
- ・市立病院の先生が、一定していない、常勤して欲しい
- ・ゴミ、福祉よりも、経済対策を立ち上げて欲しい
- ・公園をもっと大きく、目の届く所が良い
- ・下水道の件（下水管が細くて、問題あり）
- ・高齢対策、バスの無料化など
- ・下町の活性化、環境（葉の臭いがする）
- ・町内会への補助金を増やして欲しい
- ・人もバックアップして、下町の活性化
- ・観光ではなく定住者が増えるよう

- ・マグロの加工センター
- ・税金を減らして欲しい
- ・第1次産業に頼っても
- ・期待していない
- ・中通りの整備
- ・駐車場を増やして欲しい
- ・商店街の活性化
- ・下町の活性化：3人
- ・病院にいきやすいよう交通整理
- ・体育館の雨漏り
- ・医師がいない
- ・他の事まで考える余裕がない
- ・不安だけど仕方がない
- ・高速、鉄道
- ・ガードレール等の管理（公共物）
- ・高校が一つしかない
- ・下水整備：3人

- ・地域産業を生かす
- ・岸壁、市立病院
- ・専門機関
- ・仲通の道路を整備して欲しい



行政が進出すべきだと考える施策はなんですか ・道路・交通の整備

- ・病院が楽に早く終わるようにして欲しい
- ・市内巡回バスの利便性が上がる
- ・病院にいきやすいよう交通整理
- ・道路の凹凸を平らに、転倒防止のため
- ・バス

行政が進出すべきだと考える施策はなんですか ・地域経済の振興

- ・単発の取り組みとなっている、福祉の充実、ふれあいセンターの様な皆が集まれる場所
- ・イベントなどもやっているが、継続した取り組みをしていない
- ・病院をもっと、充実して欲しい
- ・医師の不足、財源確保のため
- ・商売が成り立たない、地域の活性化
- ・昔はにぎやかだった

行政が進出すべきだと考える施策はなんですか ・保健・医療・福祉の充実

- ・市立病院、安心してかかれるように充実させて欲しい
- ・安心して出産できる場所を確保して欲しい
- ・市立病院の先生の数が少ない
- ・病院の先生は、かわらないで欲しい
- ・市立HPの送迎をもっとやってほしい
- ・リハビリ、システムを充実できる施策作り
- ・病院送迎バス乗り場はもっと明確に
- ・産婦人科の普及、市立病院の充実
- ・市立病院に対する対応
- ・市立HP
- ・医師がいないこと：2人

現行の福祉サービスに満足していますか

- ・横須賀と三浦市の医療の違い、利用できるサービスが、市町村で違う
- ・地域産業を全国に広める一貫した専門機関作り（システム）
- ・老人センター入浴時、注意されてから入らなくなった
- ・市立HPの送迎を増やして欲しい

- ・特になし、ケアマネジャーの手続きは早かった
- ・介護サービスが良かった
- ・利用なし：10人
- ・今の所必要ない
- ・特になし：2人

現行の福祉サービスに満足していますか ・満足なサービスは

- ・デイサービスに満足している、本人も喜んでいる
- ・一人暮らしの高齢者の登録、自分が実際に怪我したときに役立った
- ・24時間体制でポケベル活用でありがたかった
- ・20年前は大変だったが、今は良くなった様子
- ・委託されてから、老人福祉センターのサービスがよくなった
- ・デイサービス、ショートステイ
- ・遊ばせてもらっている
- ・親切にしてもらえた
- ・デイサービス、親が利用
- ・「はまゆう」を利用
- ・戸籍の変更など親切だった
- ・ケアマネ、ヘルパー
- ・今は利用なし

現行の福祉サービスに満足していますか ・不満なサービスは

- ・手がかかる老人だと言われ、ショートステイが利用できなかった
- ・もっと市内に、どんなケースでも対応できる施設が欲しい
- ・引きこもりの人に対する対応に、もう少し、気を使って欲しかった
- ・すぐに介護認定が下りなかった
- ・利用する日数を増やして欲しい
- ・介護保険の認定に時間がかかる
- ・市がやっている時は良くなかった
- ・市立病院の医師不足
- ・介護認定を受けることが出来なかった（ヘルパー）
- ・施設サービス
- ・医師の不足

不満なサービスと答えた理由は何ですか？

- ・デイサービスで転んで、座骨にひびが入っていた、安全面で不満
- ・市内でも夜間、安心してかかれるHPが欲しい
- ・婚姻届を出したときに、嫌な思いをした
- ・病院で、先生やメンバーさんと気まづくなった
- ・使っていないので判らない
- ・希望したサービスが使えるようになって欲しい
- ・以前のショートステイを利用
- ・すぐ使いたいと思っても使えなかった
- ・リハビリなしの施設が多すぎる
- ・利用してない
- ・市内での緊急時の対応の不安
- ・老人ホームがもっとあるといい
- ・情報がほしかった
- ・介護保険料の納付
- ・待ち時間が長い
- ・よくわからない

それに対してあなたは苦情をいいましたか ・申し立てた

- ・自分の病気について、色々な人に相談し、勉強した
- ・市役所高齢介護にいった
- ・市議に訴えた

それに対してあなたは苦情をいいましたか ・我慢した

- ・介護保険料は、言っても仕方がないので
- ・まだ自分が利用していないから

我慢したと答えた理由はなんですか

- ・どこに何を言って良いかわからなかった
- ・他に相談できたから

保健・福祉窓口への希望

- ・金融機関等、地域の繋がりがあのに事務的に証明書が必要といわれるのが嫌
- ・担当者がいないとわからない、と言われたことがある
- ・自分で歩いて役所に行くことができない、相談に乗ってくれる人がいない
- ・介護している人に対しての声がけに注意して欲しい
- ・何か問題があった時に、どこに相談したら良いかわからない
- ・誰でも対応できるようにして欲しい
- ・どこに相談したら良いかわからない
- ・福祉制度に関する財源を確保して欲しい
- ・今の所必要ないので、わからない
- ・お仕着せ対応の排除
- ・とても親切に対応してくれた
- ・利用したことがない：4人
- ・親切：3人
- ・対応がいいので、不満がない
- ・昔よりは良くなった：6人
- ・特になし：6人
- ・要支援の方へ、更新連絡不足
- ・前面に総合窓口が欲しい
- ・部下の指導が出来ていない
- ・サービス減額（NTT等）
- ・満足している：2名
- ・以前は対応があまりよくなかったが、今は良い
- ・良くやってくれている
- ・良くも悪くもない
- ・TEL対応大丈夫

保健・福祉窓口への希望 ・もっと親切にして欲しい

- ・本人ではないが、高齢者の人にはわかりやすかったのか

保健・福祉窓口への希望 ・もっと情報を提供して欲しい

- ・正確な情報

社協の相談窓口への希望

- ・イベント 行事を増やして欲しい
- ・介護保険に対して、内容を詳しく丁寧に説明して欲しい
- ・利用したことがないのでわからない
- ・お嫁さんが行ってくれるから、自分はタッチできない
- ・バスと電車の時間を上手に合わせてほしい
- ・病院をちゃんとして欲しい
- ・わからない
- ・対応は親切だった
- ・特になし：4人

社協の相談窓口への希望 ・福祉サービスの質を高めて欲しい

- ・市立病院、大変で不安
- ・医師が安定していない

今後必要と思われる公共施設は

- ・地域事に若い人が集まる場所と住める場所、人口増加、運動できる所、アリーナは遠い

- ・税金の未納などを回収して、自分達の市でできることをやって改善して欲しい
- ・そんなお金ない、相談窓口の充実などが先決
- ・体操をする所、リハビリや予防のような体を動かす場所（週1くらい）
- ・歩ける所に、趣味等のサークル活動が出来れば嬉しい
- ・観光客も利用できる、入浴施設を建てて欲しい
- ・人が集まって遊べる場所、子供と一緒に遊べる場所
- ・今ある建物を修繕して、内容を充実させて欲しい
- ・文化施設、高齢者用ジム、お年寄りが集まれる場所
- ・障害関係のグループホームがあれば良いと思う
- ・下町に老人向けの休憩できる場所があるといい
- ・どんなケースにも対応してくれる施設
- ・子供を預かってくれる、一時保育の施設
- ・市立HPの産婦人科を三浦の顔にしては？
- ・子育てサロンの様なもの
- ・仕事をする場所、ホーム、安く入れる所
- ・自宅の近所に気軽に利用できる施設
- ・公共の高齢者の福祉関係施設
- ・下町に健康ランド（入浴施設）が欲しい
- ・建物にかけるお金がないから必要なし
- ・施設ばかり作っても形ばかりになって続かない
- ・作るべきではない、箱を作っても意味がない
- ・お風呂
- ・町内会館をうまく利用したほうが良い
- ・今あるものを活用する：3人
- ・お金がないから作れない：3人
- ・お金がないから必要ない
- ・市役所、もっと大きく
- ・今あるものをきちんとしてほしい
- ・子供が遊べる、無料の施設
- ・病院の医師を確保して欲しい：2人
- ・室内の施設、図書館
- ・子供たちが使える施設、図書館
- ・城ヶ島を利用して欲しい
- ・託児所、保育所
- ・必要ない：3人
- ・特になし：8人
- ・高齢者のための安い施設
- ・文化館等
- ・HPが心配
- ・年金で利用できる施設：4人
- ・HPをちゃんとして欲しい
- ・美術館
- ・防災に対して
- ・スーパー、買い物に困る
- ・バスの本数が少ない
- ・公園が欲しい：2人
- ・分からない：3人
- ・室内プール
- ・住民が利用できる銭湯（スパ）
- ・子供が安心して遊べる場所
- ・バリアフリー対策されている施設
- ・高齢者が作業できる仕事場づくり
- ・HPが必要、医師がいないし
- ・公衆トイレ
- ・老人ホーム
- ・リハビリ施設
- ・城ヶ島の整備
- ・施設
- ・ソフト面の整備
- ・考えていない

三浦市は他の市町村と合併した方がいいと思いますか

- ・財政的には仕方ないが、コミュニティが崩れる
- ・どちらとも言えない：3人
- ・イメージがわからない：3人
- ・わからない：3人

三浦市は他の市町村と合併した方がいいと思いますか ・はい

- ・行政組織の効率化、費用節減、職員、議員等の人件費節約に伴う三浦半島自治費用の一元不可
- ・保健所の協力が得やすいなら
市の保健所で市の町おこしに積極的に協力してくれるのなら
- ・してもらえるなら、地域がよくなるなら
- ・三浦市の良い所を残して、うるおえば良いのでは
- ・財政が豊かになるのでは？今より良くなるのなら、合併しても良い
- ・なってみないと判らないが、税金や水道料金が安くなる可能性があるなら
- ・税金、水道料、公共料金が安くなる、必要な所に必要なサービス提供できるのでは？
- ・三浦は、三浦のままで良い、広くなりすぎて、役所（窓口等）に行くのが大変
- ・良くなるなら良いが、保険税など上がるなら否、窓口をしっかりと欲しい
- ・横須賀には拒否されると思うが、医療、税金面で良いと思う
- ・子供の医療費など、三浦は高いから、福祉は他市の方が良い
- ・医療の問題もあり、今より暮らしがよくなるなら仕方ない
- ・このままでは寂しいが、三浦のままでいれるならいたい
- ・色々な情報がはいつてくる、三浦は孤立していると思う
- ・三浦市がよくなるには、議員さんを減らしたらどうか
- ・福祉を含めてサービスがよくなると思う
- ・三浦の考え（古い）だけだから成長しない
- ・財政がよくなるなら、合併したほうが良い
- ・孫の将来を考えると不安は多い
- ・税金、全てに関してよいのではないか
- ・産業のない三浦じゃ無理、葉山と合併すれば
- ・もう三浦だけではやっていけないのでは
- ・財政的にやっていけない、無駄が省ける
- ・合併したら大変な部分が多くなりそう
- ・三浦は閉塞的だから
- ・水道代、税金が三崎は高い
- ・状況がよくなれば
- ・税金や水道料金がさがるかな
- ・孫の教育を考えたとき
- ・三浦市は、貧乏だから
- ・市民の生活がうるおうなら
- ・地域住民の生活が潤うなら
- ・税金や水道料金が安くなるなら
- ・三浦市が自立できれば良い
- ・横須賀が嫌というのでは
- ・市独自ではやっていけないのでは
- ・行き先が努力して明るくなるなら
- ・物価が高い
- ・三浦市だけでは、活気がないから
- ・水道
- ・経済的なことから、財政難
- ・生活向上
- ・受ける所があれば
- ・良くなるなら
- ・今更遅い
- ・みんなが潤うなら
- ・裕福になれる
- ・税金の事：5人
- ・税金の事：5人
- ・経済的によくなるなら：2人
- ・漁業もダメだ

三浦市は他の市町村と合併した方がいいと思いますか ・いいえ

- ・もっと早くなら合併したほうが良かったが、いまさら遅い、島国根性だからダメ！
- ・このままのほうが良い 三浦の良さを残したい
- ・横須賀がことわるのでは広くなったら行き届かない
- ・今はもうだめなんじゃないか、お金ないし
- ・若い人がやることだから、良くわからない
- ・変わらない
- ・三浦のままでいい：4人
- ・よくわからないので、今のままで良い
- ・税金が安くなるのなら良いが
- ・年寄りはどういい
- ・地域性の違いがある為

- ・税金が高い、人口が減っている
- ・飲み込まれてしまう感じがする
- ・特別効果があるとは思えない
- ・考えたことがない
- ・三浦市の名前を残して欲しい
- ・三浦市でやっていければ
- ・わからない：2人

現在介護を必要とする家族はいますか

- ・主たる介護者ではないが、介護認定するまで時間がかかったので困った
- ・S12年～、介護認定していない人の入浴ができなかった事
- ・透析なので、横須賀まで通院のみ、HPの車で通院
- ・同居ではないので、時々手伝った程度
- ・介護は家族が看るもの
- ・解答者のお母さん
- ・以前、母親を

主な介護者は

- ・夫婦で
- ・無い
- ・自分(本人)

介護問題について

- ・「はまゆう」に入所している、介護は1週間毎日1時間デイサービスを利用していた
- ・母と交替しながら1年ちょっと、疲れて円形脱毛症や血圧が低くなった

介護者の健康状態は

- ・うつ病
- ・糖尿病

自分に他に介護を手伝ってくれる人はいますか？

- ・頼めるのかな？とりあえず、自分の力で出来る範囲で
- ・基本的には自分達で何とかする
- ・時々いてくれた
- ・介護できなくなった場合は
- ・いざという時のみ

三浦市の自慢できるところは

- ・交通の便が良い→都心に行きやすい
- ・季節感があり、人情もあり、景色がよく、食べ物がおいしい
- ・のんびりしているところ、子供同士が顔見知りなので安心
- ・空気きれい、景色も良い、台風もよけてくれる
- ・日本中で一番良い所だと思う
- ・魚、野菜、新鮮なものがいっぱいあってよい
- ・ずっと住んでいるので、良くわからない
- ・長く住んでいるから、特に考えたこともない
- ・ご近所の方たちが、気にかけてくれている
- ・台風ないし、暖かいし
- ・城ヶ島
- ・気さくな所
- ・気候など
- ・野菜が美味しい：2名
- ・食物に恵まれている
- ・時間がゆったりしている
- ・気候、住みやすい
- ・子供のアレルギーが直った
- ・地元にいると、よさがわからない
- ・よそから帰ってくると良いなと思う
- ・気候等、港
- ・歌舞島のところが残念
- ・景色と空気が良い

- ・ 空気が良い
- ・ 空気が、魚、美味しい
- ・ すみごち
- ・ 暖かい所：6人
- ・ 気候が良く、食べ物がおいしい
- ・ 季節が良く、住むには良い
- ・ 食べ物が美味しい：3人
- ・ 祭り
- ・ のんびりしている所
- ・ 野菜と魚が美味しい



情緒豊かな港町の風景を残す日の出区。沿岸漁業の衰退が著しい。

三浦市の悪いところ

- ・ 消極的閉鎖的、夜の観光場所がない、「うらり」も5時でしまる
- ・ 住んでいる人の為の、楽しめる場所がない
- ・ 先の見込みがないのに、計画性なく「うめたて」などをした事
- ・ 物価が高い、お年寄りが気楽に立ち寄れる場所がない
- ・ 古い考えの人が取り仕切っている様ではだめ
- ・ 坂下に、大きなスーパーがあれば良い
- ・ 下町に活気がない、夜の7時には人出がない
- ・ ずっと住んでいるからよくわからない
- ・ 長くすんでいるから、特に考えたこともない
- ・ 無駄な埋め立てで、景観が悪くなっている
- ・ 政治に関わっている人が、もっと真剣にやって欲しい
- ・ まとまりがない、個人商店も派閥化している
- ・ 良い所、悪い所、含めて三崎はいい
- ・ 商店がなくなっている事、人がいない
- ・ 人口が減少しているので活気がない
- ・ もう少し町を綺麗に、下町にトイレがない
- ・ 自然環境無対策
- ・ 自分達がよければ良いといった感じ
- ・ 身近なところで施設（アリーナ）がない
- ・ 井の中の蛙、外の世界を見て欲しい

- ・特になし、今更求めるものは無い
- ・若い人への職場の提供をして欲しい
- ・いつも住んでいるので、よくわからない
- ・三浦は延びていかない、井の中の蛙
- ・下町の駐車場が有料
- ・バスの本数が年々減っている
- ・若者がいない
- ・遊べる場所がない
- ・将来的にはある
- ・下町に活気があれば良いけど
- ・会社が少ない：2名
- ・医療系とくにHPなど
- ・住めば都だから
- ・近所がうまくいかない
- ・市外からの受入れがない
- ・坂道が多い、買い物に行きにくい
- ・下町に店がない、買い物が出来ない
- ・子供に近所の方が声をかけてくれる
- ・長く住んでいるから、いまさら何もない
- ・交通アクセス
- ・特になし：3人
- ・ゴミが捨ててある
- ・ウィンザーハイム
- ・町に元気がない
- ・バスの本数が少ない
- ・買い物に不便
- ・いろんな税金が高い
- ・病院を充実させて欲しい
- ・駅までの交通が良くない
- ・物価が高い：10人
- ・バス
- ・わからない
- ・物価が高い
- ・鉄道がない
- ・さびしい
- ・1h1本で
- ・程度が低い
- ・不便
- ・漁がない
- ・景気が悪い

三浦市における、地域による防犯パトロールなど犯罪抑止の取り組みは十分だと思いますか

- ・治安が悪い訳ではないので不安はあまりないが、強化するにこしたことはない
- ・地域（ご近所同士）で隣近所の安否を気にかけているから大丈夫
- ・ヘルパーさん（水、金）美山ホーム（日、木）子供も来てくれる
- ・地域的に安心感があるが、少しルーズ（いい意味で）
- ・学校の周りで腕章をつけている人を見かける
- ・自分達自身が防犯をやっていくしかない
- ・実感していない、自分は関わっていない
- ・必要とは思わない（イベント時のみで充分）
- ・面識がない、昔に比べると悪い子は減った
- ・犯罪に対する不安を抱くことがない
- ・市が何をやっているかわからない
- ・登校時の見守りは良いと思う
- ・外に出ないので良くわからない
- ・やっているのではないか
- ・知らない、見えない
- ・年に一回、警官のパトロールがある
- ・地域内で繋がりがあから大丈夫
- ・よくわからない、見たことがないので
- ・市役所が近くにあるから何とかなる
- ・あまり情報が入ってこない
- ・犯罪がないから感じない
- ・何もやってないのでは
- ・時々、訪問販売に来る
- ・あまり考えたことがない
- ・わかんない：2人
- ・実態が良くわからない
- ・地域内では
- ・個々の意識レベルが違う

三浦市における、地域による防犯パトロールなど犯罪抑止の取り組みは十分だと思いますか ・不十分

- ・家が道路に面しているのので、何度か、物損事故にあっているの不安
- ・「うらり」前、警察官が多すぎ、観光客が寄り付かなくなるのでは
- ・交番がなくなった(日の出)現状から悪くなっている
- ・夜間パトロール
- ・日の出の交番におまわりさんが在住して欲しい



- ・災害がある場合、分断されている
- ・一方通行の看板を見やすくして欲しい
- ・御巡りが昔みたいにきちんといて欲しい
- ・スクールガード以外にあまり見かけない為
- ・あまり防犯について気にしていない
- ・やっていることが目に見えない
- ・暗い、交番がなく物そう
- ・観光客マナーの取り締まりが足りない
- ・交番に人がいない：18人
- ・車上荒らしに二度あった
- ・防犯灯が少ない
- ・在住して欲しい
- ・夜が物騒

あなたの地域で行われている防犯活動はどのようなものですか

- ・夏のパトロール、見守り隊、昔ながらの地域なので知らない人が来ると、みんなで声がけをする
- ・若い人は防災メールが使えるけど、高齢者は使い方が判らない
- ・知らないうちに泥棒が入る、看板破壊（夏場が多い）
- ・わからない、引っ越して、2年しか経っていないため
- ・自分の目には見えない
- ・婦人部冬場の夜警（痴漢が発生していたため）
- ・防犯はやっているが防犯はやっていない
- ・何かしていると思うけど、よくわからない
- ・見守り隊、息子が消防団
- ・情報が予めあれば嬉しい
- ・なし、安心して生活できている
- ・特になし、中々参加できない
- ・町内会での近隣連携作り
- ・実感が無い、自己防衛
- ・火の用心含む
- ・スクールガード：7人
- ・スクールガード、アイパトロール
- ・人通りが少なくなっているけど安全
- ・地域では、見かけたことがない
- ・自分自身で気をつけるべき
- ・知らない
- ・施策は難しい
- ・学校安心メール
- ・人が住んでもらえると安心
- ・消防
- ・もっと予算を出してほしい
- ・防災訓練：3人
- ・防犯パトロールが不定期
- ・消防団の見回り
- ・体の弱い老人の方の対応
- ・地域の連携
- ・子供の見守り隊：11人
- ・夏のパトロール
- ・良くわからない：10人
- ・知らない：2人

防犯活動を進める為に効果的だと思われる活動・施策はどれですか

- ・夏になると防犯が多くなるので、交番に在住してくれたら、隣近所、自分で気をつける
- ・横須賀市は、自転車を低学年歩道はだめ(公園はOK)三浦市はどうなのか
- ・近所付き合いを深める、留守にします、お願いします、といえる関係
- ・形だけの活動じゃない本当の指導という意味での活動への工夫が必要
- ・避難所に、住民が納まりきらないのでは、行くまでが大変
- ・近所の助け合い、日頃からの顔なじみの関係付き合い
- ・不審者対策として、危険な場所の情報が欲しい
- ・夜遅く、人通りに交番がないのでちょっと怖い
- ・発生した情報を、報告してもらえれば安心
- ・交番におまわりさんがいないので不安
- ・警察によるパトロールを定期的なものに
- ・おまわりさんに、歩いて回って欲しい
- ・警察によるパトロール、人通りが少なく不安
- ・まだ行っていないので、実感が無い
- ・よくわからないけど多分十分だと思う
- ・17年間、消防隊に参加していた
- ・昔は花柳界で、夜危ないと思ったが今は静か
- ・昔は鍵をかけずに出かけていた
- ・その必要性は感じない、充分にやっている
- ・人の通りがないから怖い
- ・特、小学校での教育指導と強化

- ・自分自身を守る対策
- ・自己意識が大切
- ・日頃から、近所と声を掛け合う
- ・個々のつながり
- ・考えたことがない
- ・おまわりさんがいない
- ・AEDの講習を受けた
- ・地域での見守り活動
- ・地区では意識的に取り組む
- ・警察によるパトロール：2人
- ・わからない：4人
- ・自分で心がける
- ・みまもり隊
- ・特になし

防犯活動を進める為に効果的だと思われる活動 ・防犯灯の設置

- ・駐車が夜危険、夜は危ない歩けない
- ・外灯をもっと付けて欲しい
- ・数が少ない、不安に感じる
- ・駐車が多いので、夜怖い
- ・商店街がさみしくなる
- ・三小付近
- ・学校付近

三浦市における、災害に対する取り組みは十分だと思いますか

- ・よくわからないが、防災みうらのアナウンスが良く聞こえないときがある
- ・何をやっているのかわからないので、どちらともいえない
- ・まだ始まったばかりなので、これからも続けていきたい
- ・よくわからない、市がどこまでやっているかわからないので
- ・徐々に積み重ねていけばいい、今は良いのでは
- ・やっちはいるが、イベント的要素が強い
- ・日の出区+市+消防署で協力して行われている
- ・足が弱いので、避難所にいけるか心配
- ・必要と感じていない、地域で充分やっている
- ・市で何をやっているかは良く判らない
- ・市役所が近くにあるから、なんとかなる
- ・区でやっているが、市はやっているかわからない
- ・日の出区で、11月に消防隊を作った
- ・できていない避難場所の新しい情報が欲しい
- ・情報があまり入ってこないで、良くわからない
- ・身近に災害が起きてないから分からない
- ・やっちはいるが、余りわからない
- ・何をしているのか目に見えない
- ・津波対策、大火対策等
- ・防災活動、取組を耳にした事が無い
- ・前例がないから答えようがない
- ・防災みうらの情報は充分
- ・防災みうらが聞こえづらい
- ・自分達まで、伝わってきていない
- ・パターンシュミレーションが欲しい
- ・地区はわかるが
- ・考えたことがない
- ・情報が充分に入っていない
- ・個人の責任に近いのでは
- ・自分で備えている
- ・何も準備をしていない
- ・わからない：6人
- ・情報が欲しい

三浦市における、災害に対する取り組みは十分だと思いますか ・不十分

- ・個々の消防団のシャッターがしまっていて、万一の時、意味がない
- ・一部の人では、行っているが充分には伝わってこない
- ・訓練が、年に一回位では、役に立たないのでは
- ・家の前が河、満潮の時に水位が上がって不安
- ・時々、天気が悪いと聞こえにくいときもある

- ・消火栓とか、どこにあるかわからない
- ・避難所をちゃんと確保して欲しい
- ・若者がいないから
- ・訓練にもっと若い人も取り入れて
- ・予算的に不十分なのは
- ・わからない：5人
- ・放送くらいしか聞こえない
- ・消火栓、不十分
- ・ほとんど聞いたことがない
- ・聞こえにくい（放送等）

三浦市がおこなっている防災情報の提供は十分だと思いますか

- ・ある程度は入ってくる、万一実際におきた時は防災そう庫をトイレに利用
- ・気象情報ありがたい（夜中でも）地域の細部の情報が欲しい
- ・情報があまり入ってこないで、良くわからない
- ・岩盤の上だから、あまり災害は起こらないのでは
- ・商売上の組合では、情報は共有している
- ・災害の怖さを知らないから
- ・アナウンス
- ・自分の場所を確認している
- ・何かあった時、情報が欲しい
- ・ご近所同士の情報交換、助け合い
- ・地震の情報が欲しい
- ・防災バッグの準備
- ・市での放送
- ・防災情報聴取無
- ・わからないから
- ・回覧が回っている
- ・消火器準備
- ・関心がない
- ・よくわからない

三浦市がおこなっている防災情報の提供は十分だと思いますか ・不十分

- ・避難場所が目前にあるのに、近くの場所でない（三小が近いのに、三中が避難場所）
- ・やっているが、避難訓練等をもっと積極的にやってもいいのでは？
- ・防災みうら、男の人の声で、もう少しゆっくり話して欲しい
- ・防災アナウンスが良く聞こえないので、何とかして欲しい
- ・防災無線を、丁寧で判りやすく、何度か繰り返して欲しい
- ・市の広報車、動きながら話していても意味がない、無駄
- ・今以上に、三浦市として、何が出来るかわからないか
- ・区長が頑張っていると思うが、市としては不十分
- ・情報は男性の声でゆっくりと、二回以上言ってほしい
- ・市役所が近くにあるから、なんとかなる
- ・貯水槽など、市民が知らないことが多い
- ・防災みうらが反響して全く聞こえない
- ・放送が、聞こえる時と聞こえないときがある
- ・やっている取り組みが見えてこない
- ・城ヶ島、防波堤が充分ではない
- ・考えたことがない
- ・何度か繰り返して欲しい（放送等）
- ・防災みうら、二回言って欲しい
- ・防災みうら聞こえにくい：13人
- ・情報の伝達が遅い
- ・1回目は聞こえない

災害が起きたときに備えて、今後、地域や家庭でより力を入れて取り組むべき事柄は何だと思いますか

- ・実家が神戸で、震災の体験を聞いた
- ・羽布団はNG、綿の布団が良いと聞いたので、取り替えた
- ・町内の防災隊が昨年始まったばかりなので、これから続けて行きたい
- ・今はしていない、避難所に上るのも不安（坂があるので）
- ・80歳過ぎてからあまりじたばたしない
- ・その場、その時になってみないとわからない

- ・連絡網リストをTELの横に張ってある
- ・避難場所まで行くのが大丈夫かどうか
- ・避難経路を家族内で確認しておく
- ・もうこの歳だから、あまり考えてない
- ・高齢者を避難所まで連れて行けるか判らない
- ・備蓄しておきたいとは思っている
- ・水（地域の方々に使ってもらえるような）
- ・個々の金銭管理、金庫等
- ・近所での声かけ
- ・のん気に構えている
- ・何もしていない
- ・特になし：2人
- ・判らない：2人
- ・もう、そのまま家にいる
- ・避難所までいけない

災害が起きたときに備えて、今後、地域や家庭でより力を入れて取り組むべき事柄は何だと思えますか

・災害時に地域で援助が行えるような、助け合い活動の強化

- ・避難経路を把握、点検して欲しい
- ・必要だとは思う
- ・ご近所との

災害が起きたときに備えて、今後、地域や家庭でより力を入れて取り組むべき事柄は何だと思えますか

・非常用飲食料の備蓄

- ・薬局なので、常に商品としてある
- ・自分達の意識の問題
- ・服
- ・前はしていた
- ・少し、買い置きする程度

災害が起きたときに備えて、今後、地域や家庭でより力を入れて取り組むべき事柄は何だと思えますか

・家具の転倒防止、自宅の耐震強化

- ・リフォーム時に、ネジ、釘を多めにしてもらった
- ・家具を置かない様にする

災害が起きたときに備えて、今後、地域や家庭でより力を入れて取り組むべき事柄は何だと思えますか

・防災訓練に日頃から参加する

- ・自分自身が助かるかどうかわからないのに、人を助けられるかどうかわからない
- ・広域避難場所が不安、違う場所で逃げる予定（家族では相談済み）
- ・自分で出来ているので
- ・出られれば

災害が起きたときに備えて、今後、地域や家庭でより力を入れて取り組むべき事柄は何だと思えますか

・広域避難所、地域の防災拠点等の情報を把握しておく

- ・避難誘導員なので

災害が起きたときに備えて、今後、三浦市でより力を入れて取り組むべき施策は何だと思えますか

- ・年代によって、お年寄りの人には、策を講じてもらっているが、今働いて家にいない人には、情報が伝わらない、そういう人にも情報が伝わるよう伝達を徹底して欲しい

- ・避難マニュアルがあればよい、避難所への持ち物リストがあれば嬉しい
- ・町内のつながり、日頃から祭りなどの集まりに参加することで、自然に情報が入る
- ・経験していないからわからないが、自分の事は自分達でやるようにしたい
- ・食料、水、備蓄はどうなっているのか、ちゃんとやって欲しい
- ・看護師が、転移は嫌と言って、中止になったと聞いている（油壺）
- ・透析をしている人達の対応をして欲しい
- ・避難所にも歩いていけないだろうし、このまま家にいるよ
- ・個人の運が悪かったか、良かったかにかかってしまうのでは
- ・それなりに、市はやっているのではないか
- ・緊急時の情報を正確に迅速に伝えて欲しい
- ・食料の備蓄、周りがみんな高齢者で誰も頼れない・避難所などでの、食糧確保
- ・ご近所の方が気にかけてくれているので
- ・三崎の人は透析をしている人が多い
- ・お金をかけないで無駄にしないように
- ・市民からアイデアの募集をする
- ・消防団員、そのOBへの支援
- ・パトロール、夏の夜間等
- ・食糧の備蓄
- ・防災訓練のパターンが欲しい
- ・避難経路の耐震チェック
- ・特になし：3人
- ・地域の連携を活かす為の施策
- ・避難所へ遠く道が悪い
- ・情報
- ・自己意識をしっかり持つ
- ・近所の助け合いの強化
- ・自己意識の啓発
- ・避難所までいけない
- ・よくわからない：2人
- ・情報の周知

**災害が起きたときに備えて、
今後、三浦市でより力を入れて取り組むべき施策は何だと思えますか**

- ・介護を受けている人、障害を持っている人への非難支援の仕組みづくり
- ・夫が透析をうけているから避難場所が坂の上なので、歩いていけない
- ・どの様に連絡などをしたら良いかの仕組みづくり

**災害が起きたときに備えて、
今後、三浦市でより力を入れて取り組むべき施策は何だと思えますか**

- ・災害時に地域で消火・救助活動をするための備品の整備
- ・消防署、ライフラインをチェックして、水道電気ガス等が欲しい
- ・地区だけでは限界がある

**災害が起きたときに備えて、
今後、三浦市でより力を入れて取り組むべき施策は何だと思えますか**

- ・防災訓練・防災講演会の実施
- ・地域の隣人が仲良くしたほうが良いのでは
- ・学校の訓練に参加したい
- ・平和すぎて考えたことない
- ・もっと避難場所が欲しい
- ・特にない

災害が起きたときに備えて、今後、三浦市でより力を入れて取り組むべき施策は何だと思えますか

・地域への防災グッズの提供

- ・ゴミの網が欲しい、ゴミの網になった箱のようなもの
- ・ヘルメットが必要、市の補助が欲しい
- ・すぐに情報を提供して欲しい
- ・特になし



その他の意見：

お仕着せの調査でなく事業効果を検証、今後訪初に資するため、次項目を検証されたい

- (1) 自由意見を記述できる項目
(課題が中途半端)
- (2) 暗い面の調査で終始しないで、
明るい幸な情報等に関する設問
- (3) 統計標本抽出で、atramdam で調査
依頼をしているか (対象者)
- (4) 結果及び効果に関する情報公開

日頃の生活について

(1) 親しくしている友人はいますか

- ①職場での友人
- ②学生時代の友人
- ③近所の友人
- ④趣味・サークルでの友人
- ⑤特に親しい友人はいない(理由:)
- ⑥その他

(2) あなたと月々の交際費はどれくらいですか?

- ①一万円未満
- ②1万から2万円
- ③2万から3万
- ④3万円以上

(3) 地域活動組織化活動への参加状況は?

- ①老人クラブ
 - ②自治会・町内会
 - ③女性団体④趣味のサークル・団体
 - ⑤健康やスポーツのサークル
 - ⑥学習や教養のサークル
 - ⑦公民館活動
 - ⑧ボランティア活動
 - ⑨商工会・同業者団体
 - ⑩シルバー人材センター
 - ⑪全く参加していない
- (理由:)

(4) 地域活動へ参加していますか?

- ①進んで参加する
- ②参加しない
- ③求められれば参加する
- ④その他

(4) 参加しない理由は?

- ① どのような活動がおこなわれているのか知らない
- ② 経費や手間がかかる
- ③ 気軽に参加できる活動が少ない
- ④ 親しい友人仲間がいない
- ⑤ 活動に必要な技術・経験がない
- ⑥ 活動場所が近くにない
- ⑦ 健康・体力に自信がない
- ⑧ 家庭の事情
- ⑨ 過去に参加したが期待外れだった
- ⑩ 特に理由はない

(6) 今後の活動意向や生きがい

- ①働くこと
- ②学習や教養を高めるための活動
- ③スポーツ
- ④趣味
- ⑤ボランティア活動
- ⑥老人クラブ活動

- ⑦自治会・町内会活動
- ⑧旅行
- ⑨買い物
- ⑩子供や孫の成長
- ⑪公営ギャンブル
- ⑫ない

(7) 普段の外出状況

- ①0回
- ②1～3回
- ③4～6回
- ④毎日／外出時に困ることは？道路・駅・バス・タクシー

(8) 公共施設の利用状況は？

- ①市役所
- ②病院
- ③保健所
- ④ボランティアセンター
- ⑤勤労市民センター
- ⑥老人福祉保健センター
- ⑦南下浦・初声市民センター
- ⑧潮風アリーナ
- ⑨青少年会館
- ⑩在宅介護支援センター
- ⑪児童会館
- ⑫地域育児センター
- ⑬三浦市総合福祉センター
- ⑭高齢者ふれあいセンター

(9) 主な医療機関は？

- ①市内の診療所・医院
- ②市内の病院
- ③市外の診療所・医院
- ④市外の病院
- ⑤他府県の診療所・医院
- ⑥他府県の病院

(10) かかりつけ医師の有無

- ①いる
- ②いない

(11) 往診の有無

- ①はい
- ②いいえ

(12) 市内の情報（サービスの情報等）入手方法は？

- ①市の広報
- ②自治会・町内会の回覧
- ③テレビ・ラジオ・新聞
- ④障害者団体
- ⑤福祉事務所や保健所

- ⑥市役所窓口
 - ⑦学校・職場・施設
 - ⑧病院
 - ⑨ホームヘルパー（ライフパートナー）
 - ⑩民生委員⑪家族・親戚
 - ⑫ボランティア
 - ⑬在宅介護支援センター
 - ⑭社会福祉協議会（「社協みうら」含む）
 - ⑮その他（ ）
- (13) 現在の健康状態は？
- ①健康
 - ②まあまあ健康
 - ③あまり健康じゃない
- (14) 健康について知りたいことは？
- ①生活習慣病の予防
 - ②望ましい食生活
 - ③運動の方法
 - ④検診の内容や受け方
 - ⑤寝たきり予防
 - ⑥痴呆予防
 - ⑦歯の健康
 - ⑧その他（ ）
- (15) 実施してほしい活動は？
- ①地区内の巡回
 - ②小地域生活支援チーム活動（安否の確認）
 - ③外出時の援助
 - ④身辺の雑用
 - ⑤情報の伝達
 - ⑥緊急時の対応
 - ⑦その他
- (16) 主な生計中心者は？
- ①本人
 - ②配偶者
 - ③父
 - ④母
 - ⑤子供
 - ⑥祖父母⑦兄弟姉妹
 - ⑧その他の親戚
 - ⑨収入のあるものがない
- (17) 生計中心者・主な収入源は？
- ①給料
 - ②事業収入
 - ③年金・手当
 - ④財産収入
 - ⑤仕送り
 - ⑥生活保護

- ②不満なサービスは？（ ）
- (3) ②と答えた理由は何ですか？
（ ）
- (4) それに対してあなたは苦情をいいましたか？
①申し立てた
②我慢した
- (5) ②と答えた理由は何ですか？（ ）

- (6) 保健・福祉窓口への希望
①もっと親切にしてほしい
②もっとわかりやすくしてほしい
③もっと情報を提供してほしい
④介護保険のことをケアマネジャー任せにするのではなく相談にのってほしい
⑤苦情の相談窓口を設けてほしい
⑥行政サービスの質を高めてほしい

- (7) 社協の相談窓口への希望
①もっと親切にしてほしい
②もっとわかりやすくしてほしい
③もっと情報を提供してほしい
④苦情の相談窓口を設けてほしい
⑥福祉サービスの質を高めてほしい

- (3) 今後必要と思われる公共施設は？
（ ）
- (4) 三浦市は他の市町村と合併した方がいい代思いますか？
①はい 理由（ ）
②いいえ理由（ ）

介護に関すること

- (4) 介護問題について
現在介護を必要とする家族はいますか？
はい →①から⑦の質問へ 　　いいえ
- ①主な介護者は？
配偶者・子供・子供の配偶者・孫・親戚・その他②介護者の性別は？
男性・女性
- ③介護者の年齢は？
（ ）才
- ④介護期間は？
①6ヶ月未満
②6ヶ月以上1年未満
③1年以上2年未満
④2年以上3年未満
⑤3年以上4年未満
⑥4年以上5年未満
⑦10年以上
- (5) 介護者の健康状態は？

- ①特に問題ない
- ②腰膝腕肩痛
- ③不眠
- ④高血圧
- ⑤頭痛
- ⑥心臓疾患
- ⑦胃腸
- ⑧精神的イライラ
- ⑨病気のため治療中
- ⑩よく病気をする⑪疲れやすい
- ⑫その他

(6) 自分に他に介護を手伝ってくれる人はいますか？

- ①同居で介護交代者がいる
- ②別居で介護交代者がいる
- ③その他
- ④いない

(7) 介護できなくなった場合は？

- ①同居している家族に頼みたい
- ②別居している家族に頼みたい
- ③親戚に頼みたい
- ④近所の人や知人
- ⑤ボランティアに頼みたい
- ⑥福祉施設や病院などに入所入院させる
- ⑦ホームヘルパーなどに頼みたい
- ⑧その他

三浦市について

(1) 三浦市の自慢できるところは？

- ①自然環境に恵まれている
- ②地域の歴史性・文化性
- ③まちの賑わい
- ④日常生活の便利さ
- ⑤優れた景観や環境
- ⑥地域住民の人情⑦身近な公共施設
- ⑦レクリエーション資源の豊かさ
- ⑧特にない

(2) 三浦市の悪いところ

- ①自然環境が悪い
- ②地域の慣習になじめない
- ③交通アクセス
- ④文化施設の欠如
- ⑤知人や親戚が少ない
- ⑥生活に不便（買い物）
- ⑦行政サービスが不十分（介護・障害・児童）
- ⑧余暇活動を楽しめる場所がない（あっても全て有料だから）
- ⑨仕事がない

- ⑩教育施設がない
- ⑪住宅がない
- ⑫その他

防犯について

- (1) 三浦市における、地域による防犯パトロールなど犯罪抑止の取り組みは十分だと思いますか。
- ①十分
 - ②どちらかといえば不十分
 - ③不十分
 - ④どちらともいえない
- (2) 前問で、③④と回答された方に伺います。どのような点が不十分だと思われますか？
理由（ ）
- (3) あなたの地域でおこなわれている防犯活動はどのようなものですか？
- ①防犯パトロール
 - ②犯罪発生情報の広報
 - ③防犯の講習
 - ④防犯上危険な場所の点検
 - ⑤不法投棄の監視や落書きけし
 - ⑥どのような防犯活動がおこなわれているかわからない
 - ⑦行っていない
 - ⑧その他
- (4) 防犯活動を進めるために効果的だと思われる活動・施策はどれですか？
- ①地域ぐるみの防犯パトロール強化
 - ②住民自身がおこなう防犯対策
(夜間における門燈の点灯、玄関や窓などの二重ロックの設置等)
 - ③犯罪発生情報の提供
 - ④防犯対策情報の提供(犯罪にあわないための注意点など)
 - ⑤防犯灯の設置
 - ⑤街中における防犯カメラの設置
 - ⑥学校・幼稚園・保育園での安全教育の実施
 - ⑥防犯講習会の実施
 - ⑦地域がおこなう防犯活動への経済的支援
 - ⑧その他

防災について

- (1) 三浦市における、災害に対する取り組みは十分だと思いますか。
- ①十分
 - ②どちらかといえば不十分
 - ③不十分
 - ④どちらともいえない
- (2) 前問で、③④と回答された方に伺います。どのような点が不十分だと思われますか？
理由（ ）
- (3) 三浦市がおこなっている防災情報の提供は十分だと思いますか。
- ①十分

- ②どちらかといえば不十分
- ③不十分
- ④どちらともいえない

(4) 前問で、③④と回答された方に伺います。どのような点が不十分だと思われますか？
理由（ ）

(5) 災害が発生したときに備えて、今後、地域や家庭でより力を入れて取り組むべき事柄は何だと思えますか？

- ①災害時に地域で援助がおこなえるような、助け合い活動の強化
- ②非常用食料の備蓄
- ③家具の転倒防止、自宅の耐震強化
- ④防災訓練に日頃から参加する
- ⑤広域避難所、地域の防災拠点等の情報を把握しておく
- ⑥その他

(6) 災害が発生したときに備えて、今後、三浦市でより力を入れて取り組むべき施策は何だと思えますか？

- ①介護を受けている人、障害を持っている人への避難支援の仕組みづくり
- ②市民の防災意識の啓発
- ③公共施設、避難所などの耐震強化
- ④災害時に地域で消火・救助活動をするための備品の整備
- ⑤災害時における三浦市職員の初動体制の強化
- ⑥防災訓練・防災講演会の実施
- ⑦地域への防災グッズの提供
- ⑧その他

(以 上)

評価シート思案

【事業名】 地域サロンの整備・推進	【所管】 社会福祉法人三浦市社会福祉協議会
-----------------------------	---------------------------------

1 事業名

【事業の目的】 「自分達の住む地域から誰も孤立させない」という住民意志に基づき、地域住民を対象とした多様な交流拠点を設ける。	【上位目的】 計画づくりから計画の実施を通じて、地域の民主化は進展させる。当事者の人権・権利擁護と市民の連帯を強める。						
【達成度】							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">目標設定時 平成 21 年度</td> <td style="padding: 5px;">最終目標 平成 25 年度</td> <td style="padding: 5px;">平成 年度</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">●箇所</td> <td style="padding: 5px;">●箇所</td> <td style="padding: 5px;">●%</td> </tr> </table>		目標設定時 平成 21 年度	最終目標 平成 25 年度	平成 年度	●箇所	●箇所	●%
目標設定時 平成 21 年度	最終目標 平成 25 年度	平成 年度					
●箇所	●箇所	●%					

【概要】	
1 実施主体	ボランティア、NPOなど
2 利用対象者	当該地域住民
3 職員配置	基準なし
4 事業内容	実施主体の自主企画・運営による
5 補助基準	民間資本による補助
6 補助率	—

【予算内訳】				
事業者	国	県	市	民間補助
会費・利用者負担	負担なし	負担なし	負担なし	・社会福祉協議会で補助 ・民間資本による補助 ・寄付金
※地方自治体毎にサロンに対する補助金を設けている場合がある。目的は、生きがい対策等も含めた市民グループ支援及び今後の公共サービスを分担するパートナーとしての公益市民活動団体支援にある。				
【事業開始年度】 平成 21 年度				
【計画上の類似事業】 地域福祉推進モデル事業/HUGくみ、引橋の家等				

【計画の実行プロセス】
計画づくりから課題達成に至るまでの諸過程で、市民がどのように参加したか。①小地域組織化②当事者組織化③事業・活動・プログラムなどを勘案して評価。
<div style="font-size: 4em; font-weight: bold;">[</div>

【計画の社会化】

計画づくりから計画の実施を通じて、地域の民主化は進展したか。当事者の人権・権利は擁護されたか。市民の連帯は強まったか—を市民アンケートやヒアリングを通じて総合的に評価。併せて当該サロン利用者の満足度も測定する。また、こうした作業を通じて顕在化されたニーズに基づき新たなサービスを創出するとともに、当該市に対し、政策提言をおこなう。

（空欄）

2 事業費・事業規模の推移

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
直接経費 A					
財源内訳	国・県補助金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他				
	一般財源				
必要人員(人/年) B					
人件費 C					
フルコスト (A+C)					
事業の対象者数					

3 費用に対する効果

【予防効果】サロンの開設によって、市の介護保険費用等をどの程度削減できたか？

【孤立防止】サロンの開設によって、どれだけ市民に安心感をもたらしたか？

【市民参加】市民活動に参加する住民がどれだけ増えたか？それを人件費に換算し、行政の類似事業（高齢者ふれあいセンター、老人福祉センター）との比較などを試みる。

4 地域診断

【地域特性の視点から】

【地域社会資源の視点から】

【地域生活問題の視点から】

※今後実施計画の進捗状況の管理をおこなうにおいて、本思案に基づく評価シートを各事業ごとに作成し、その適正なる執行状況の管理をおこなう。

三浦市地域福祉活動計画（第2次計画改定版）

2009年5月

発行：〒238-0102 三浦市南下浦町菊名1258-3

三浦市総合福祉センター

電話046-888-7347

社会福祉法人三浦市社会福祉協議会

三浦市民生活向上会議

発行者：大古 益男

編集：佐藤 千徳